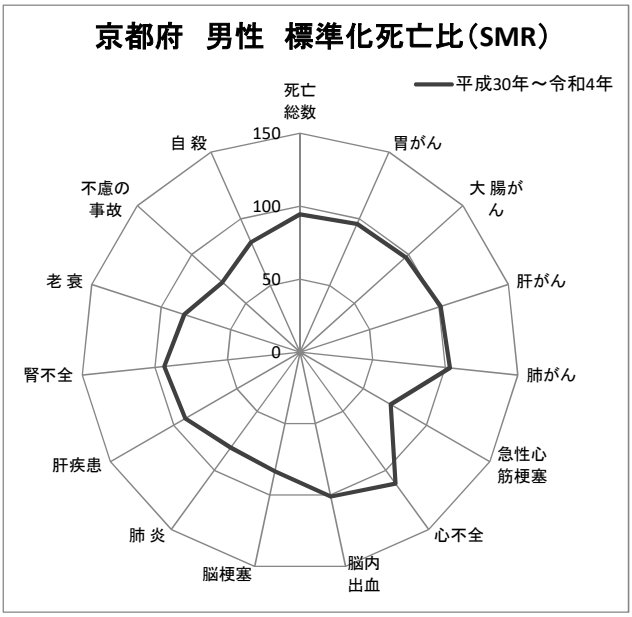
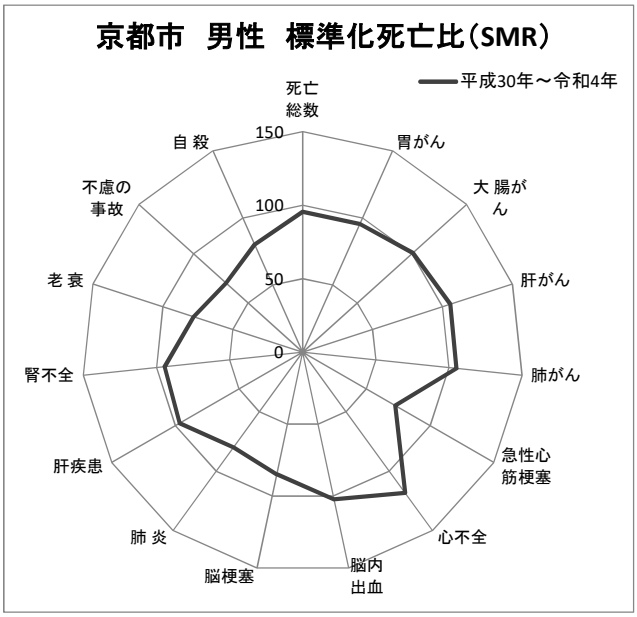
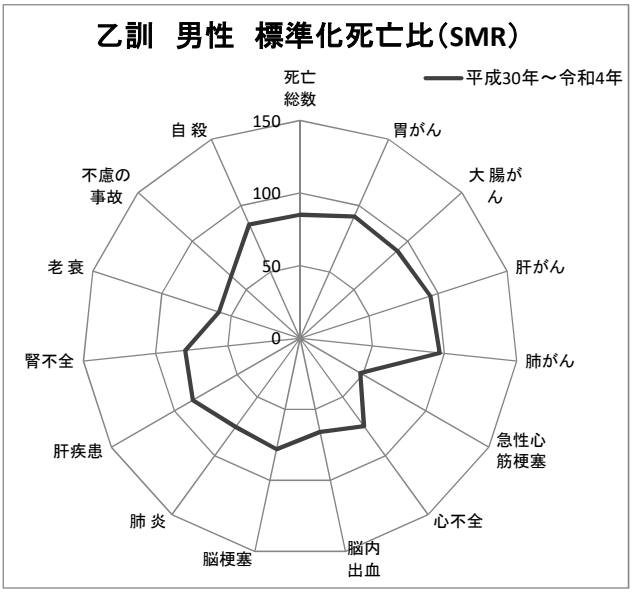
資料３

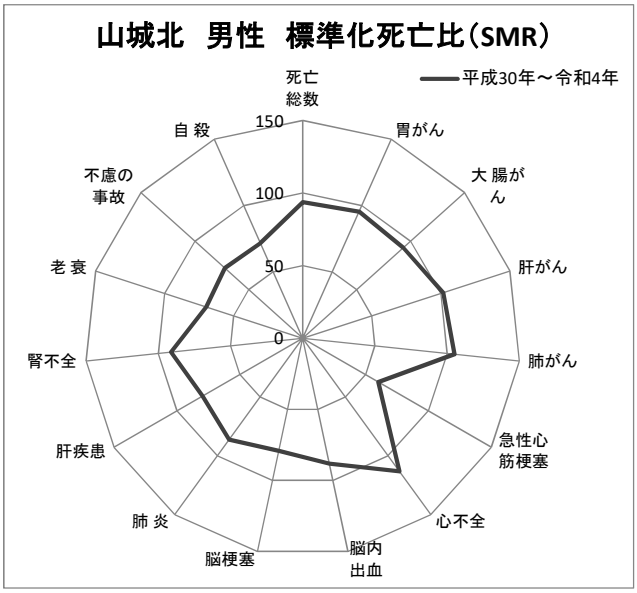
府内保健所別・市町村別
標準化死亡比（SMR）

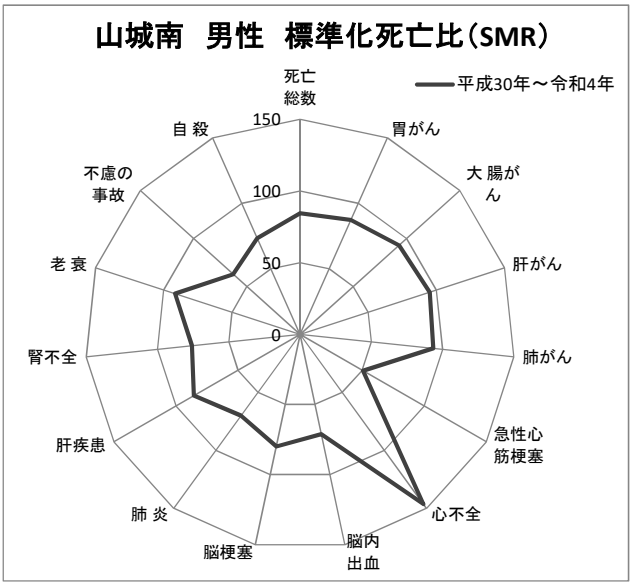
平成３０年～令和４年

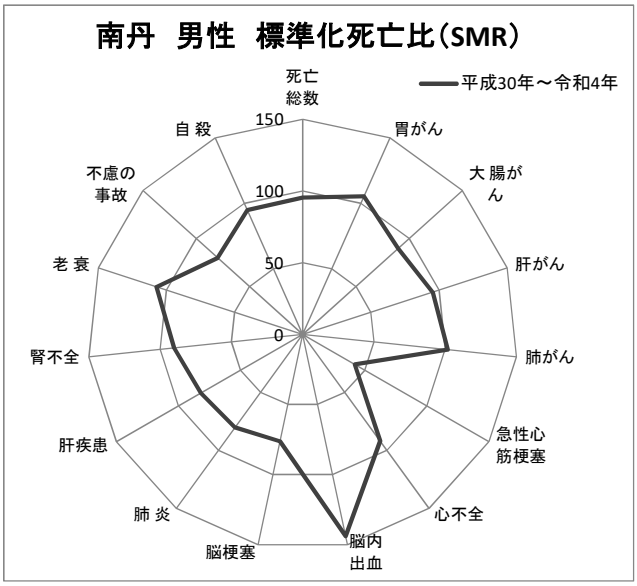




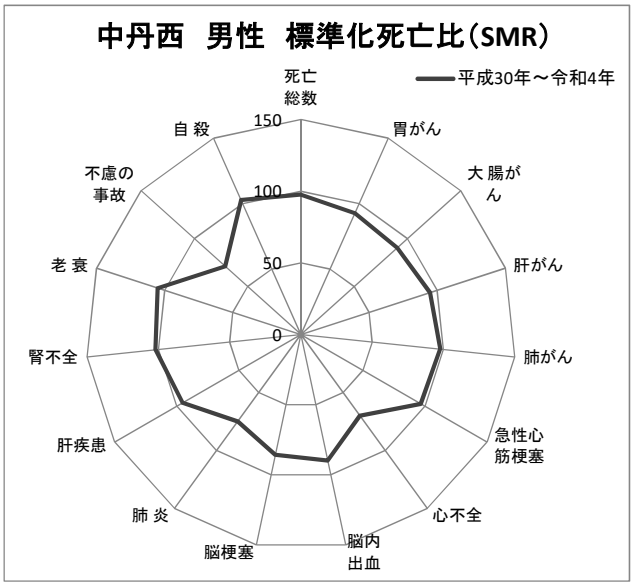


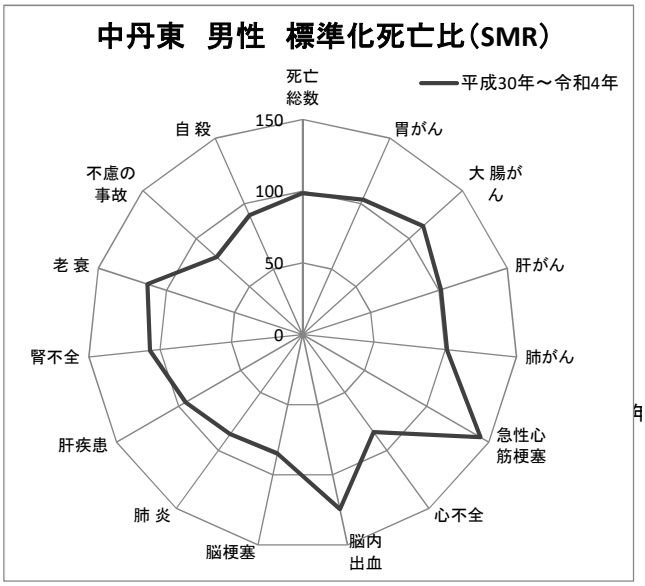


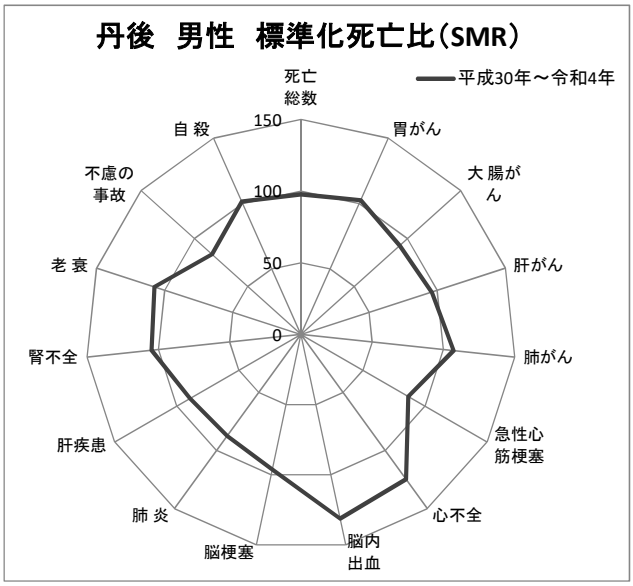




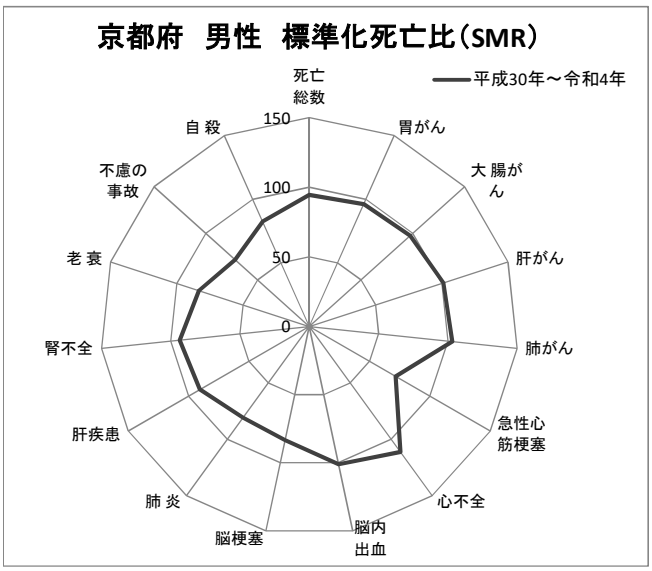
令和6年4月19日厚生労働省公表　標準化死亡比平成30～令和4年（ベイズ推定値）

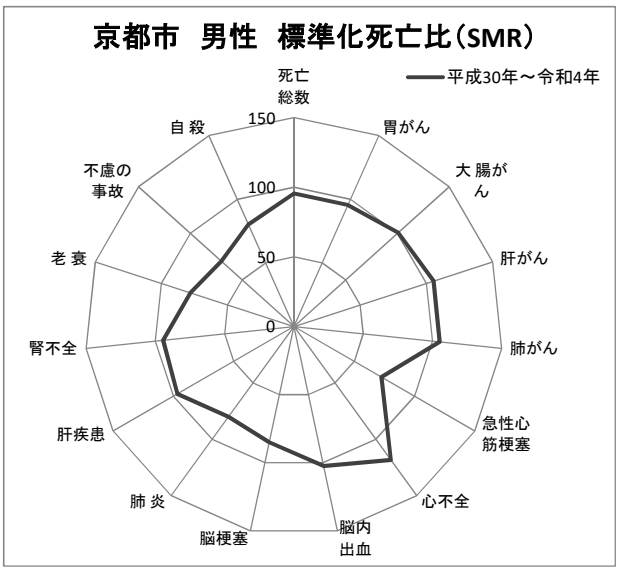


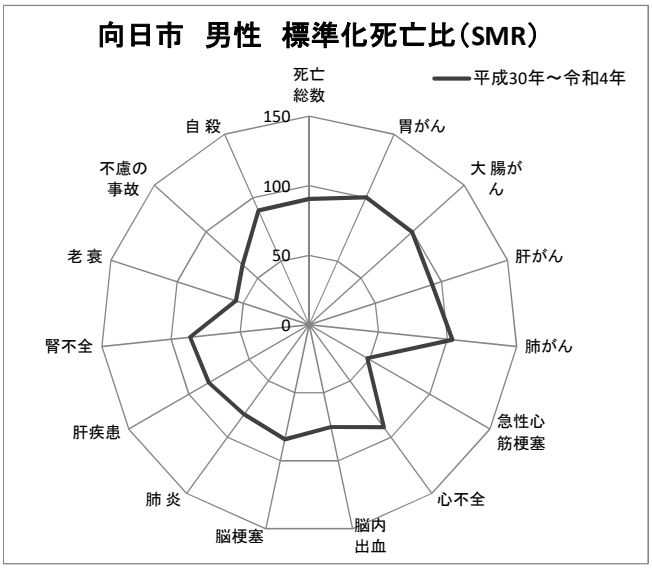


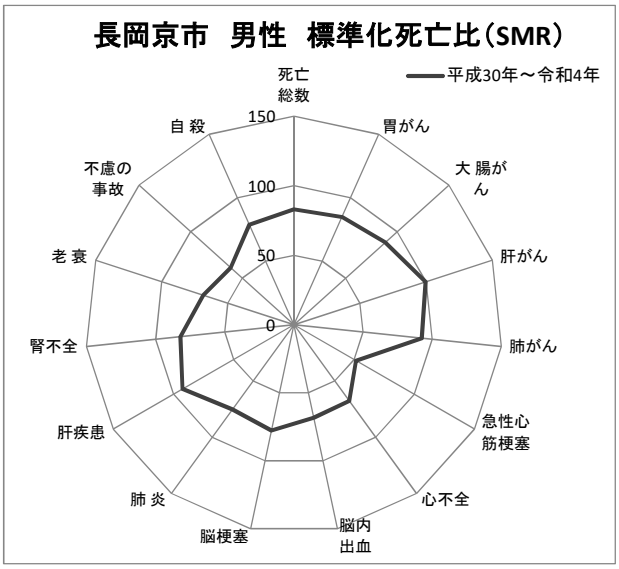


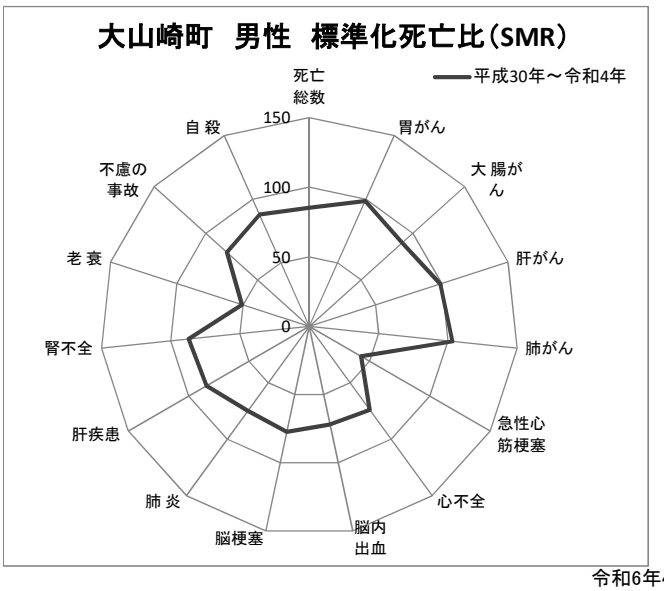
令和6年4月19日厚生労働省公表　標準化死亡比平成30～令和4年（ベイズ推定値）

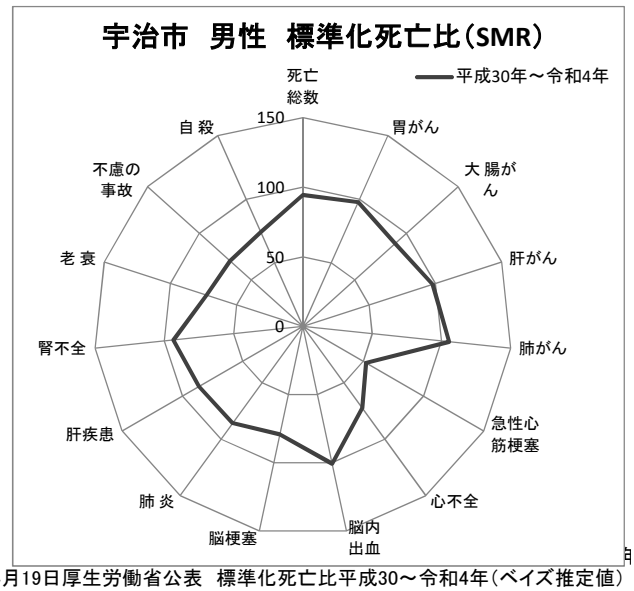




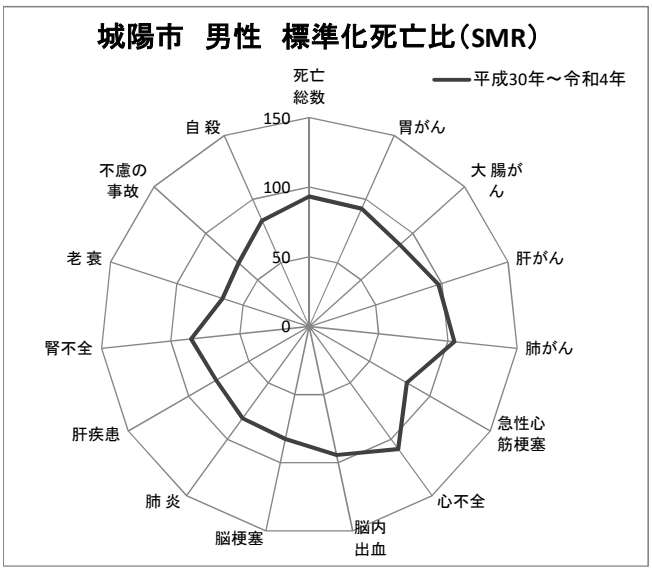


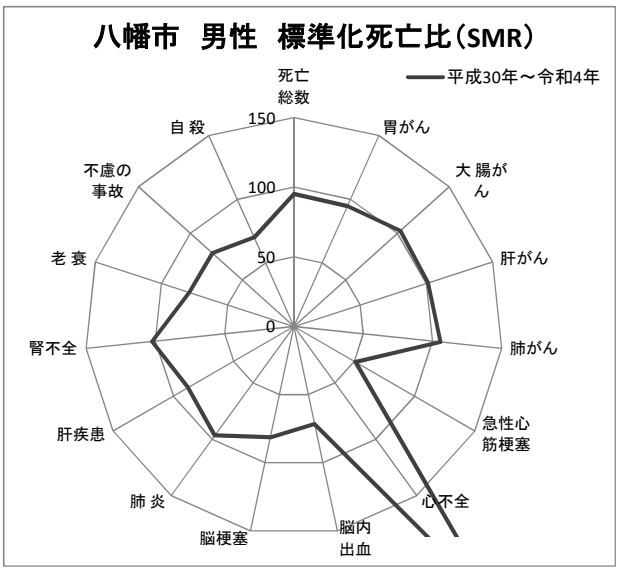


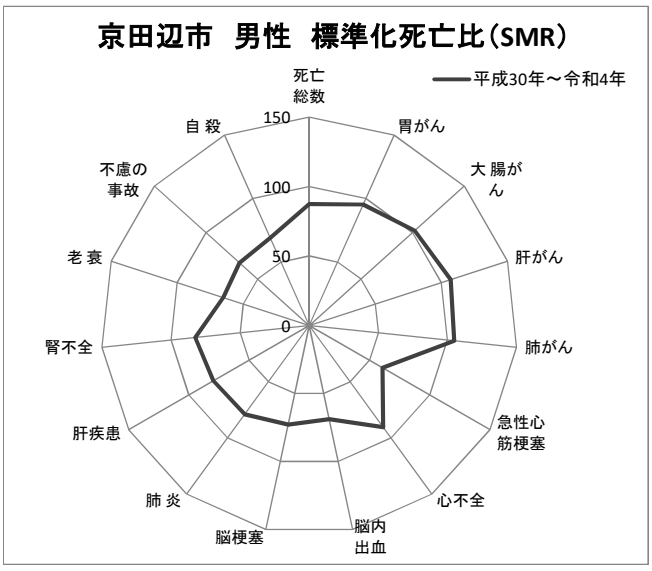


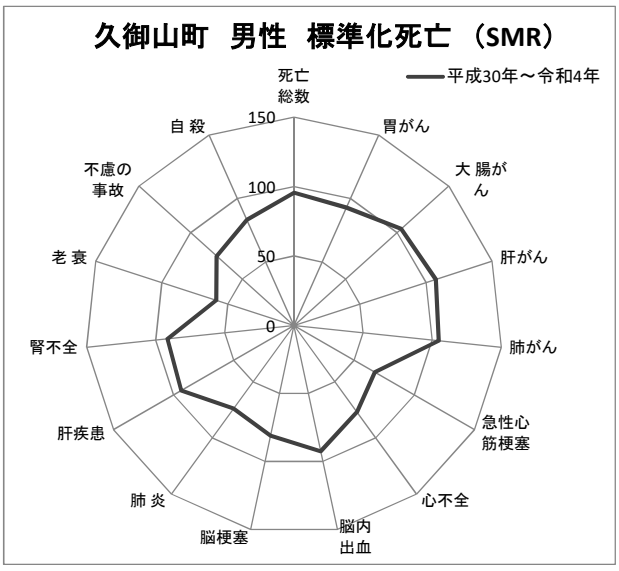


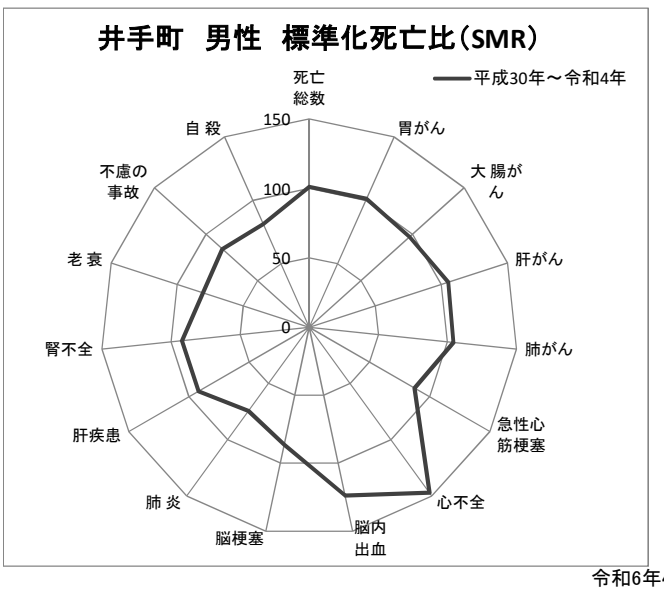
令和6年4月19日厚生労働省公表　標準化死亡比平成30～令和4年（ベイズ推定値）

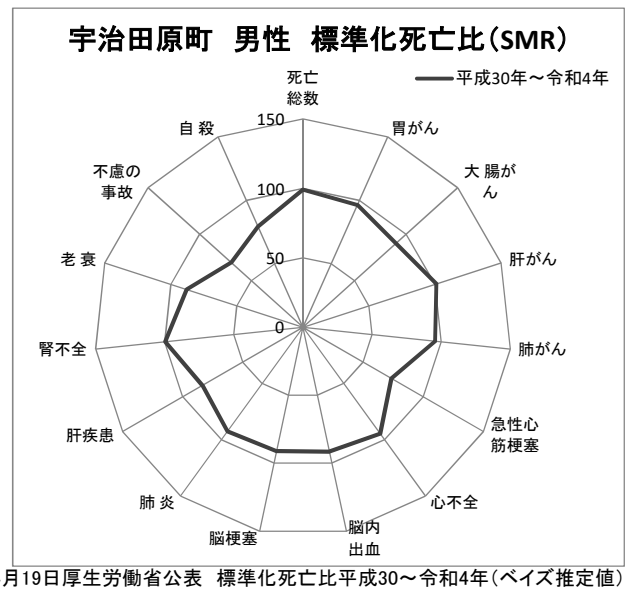




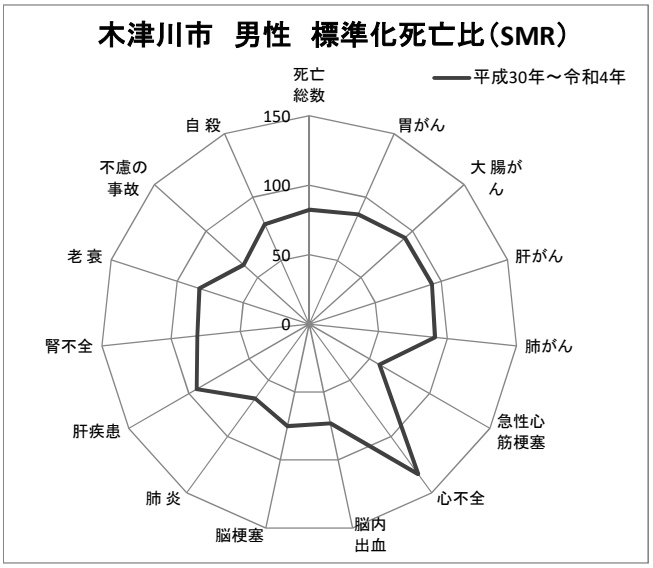


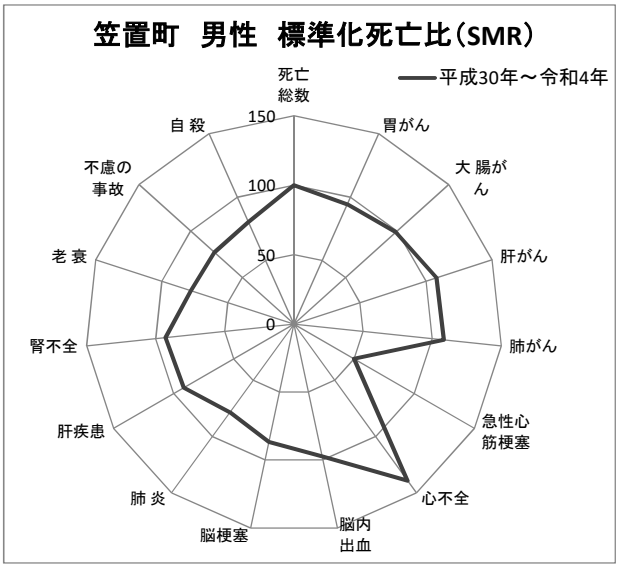


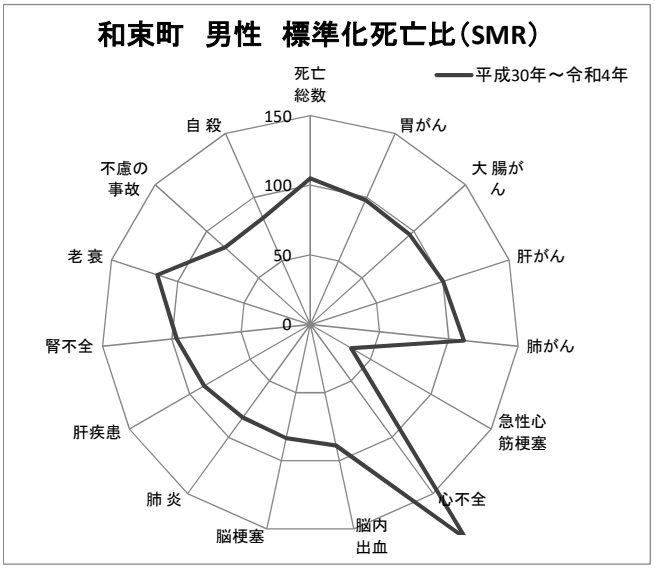


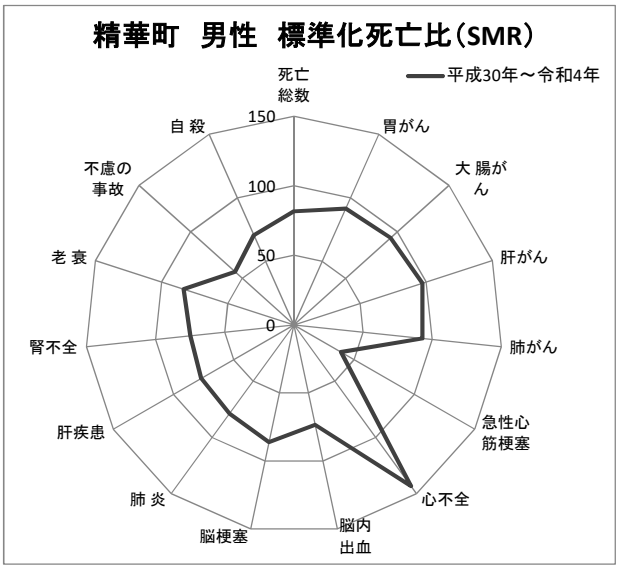


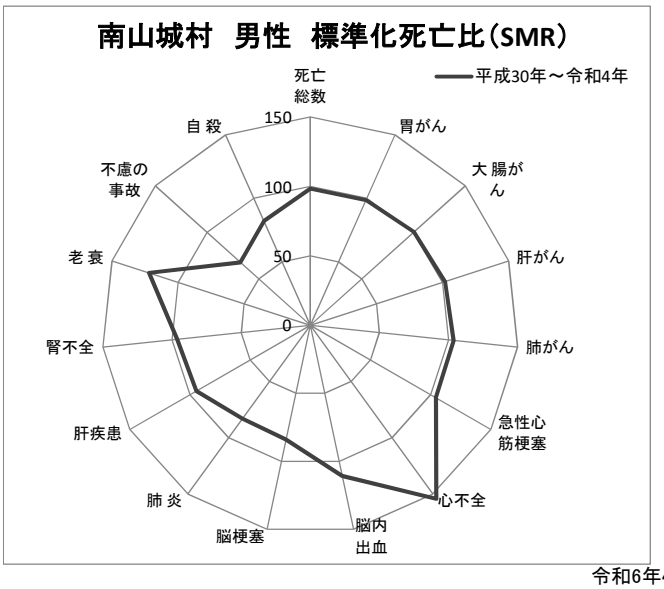
令和6年4月19日厚生労働省公表　標準化死亡比平成30～令和4年（ベイズ推定値）

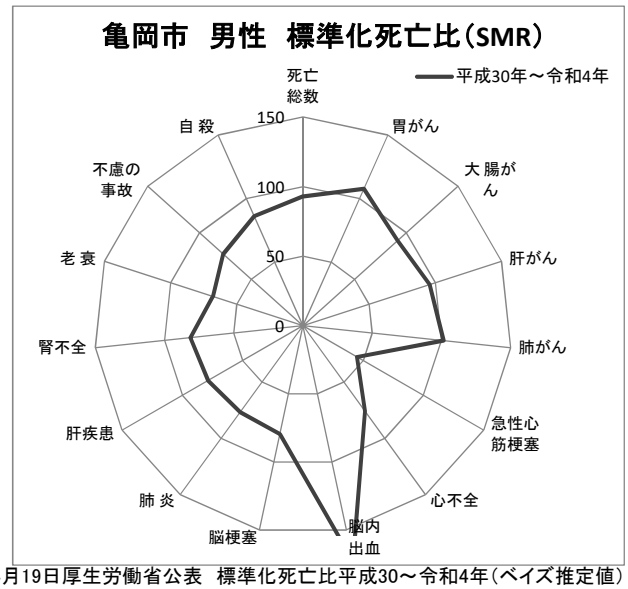




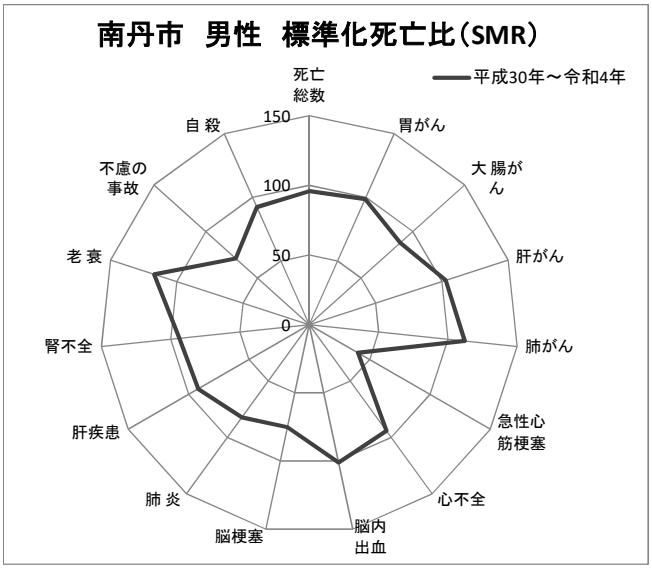


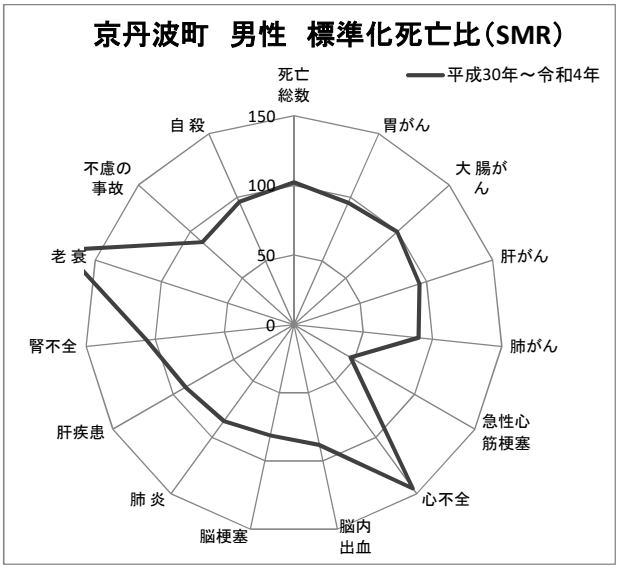


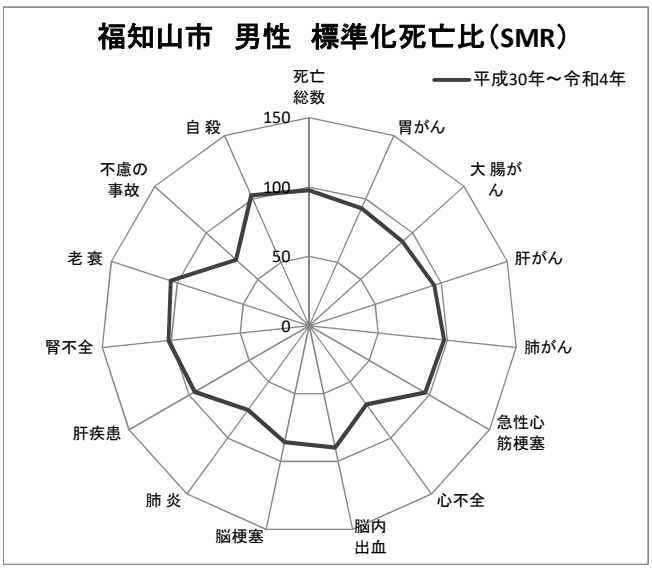


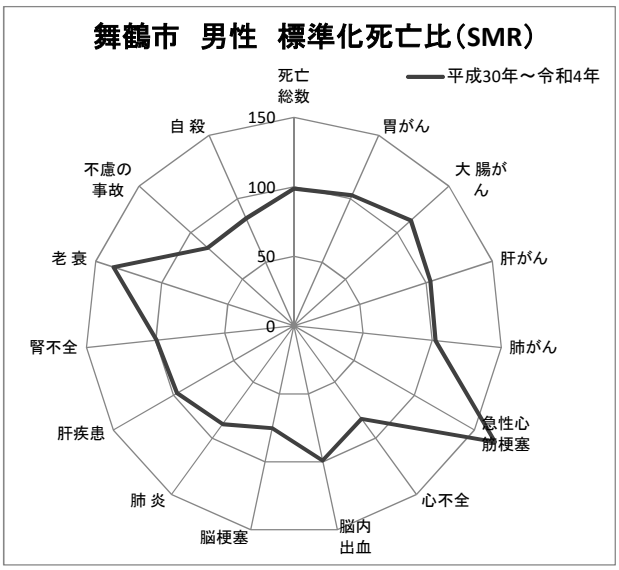


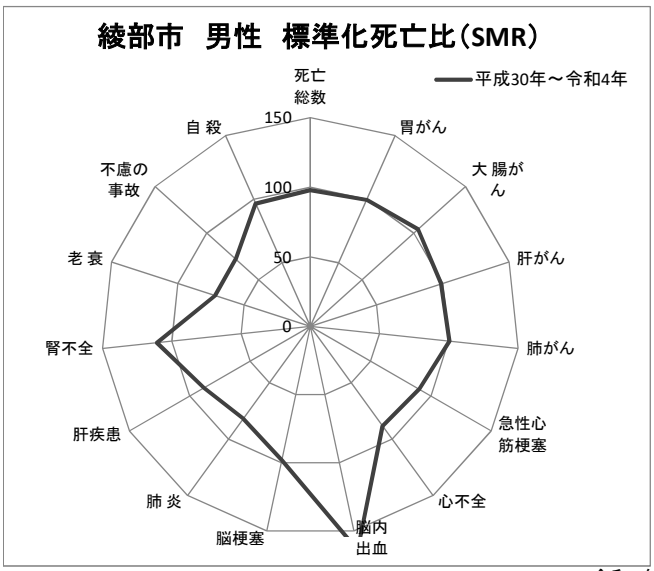
令和6年4月19日厚生労働省公表　標準化死亡比平成30～令和4年（ベイズ推定値）

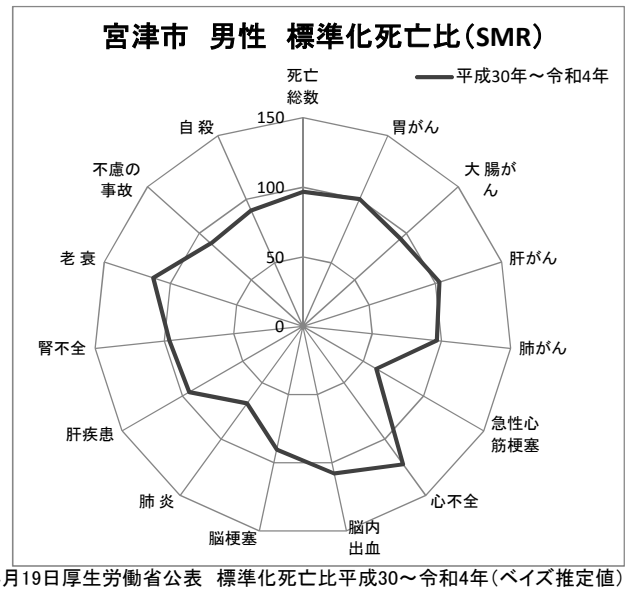




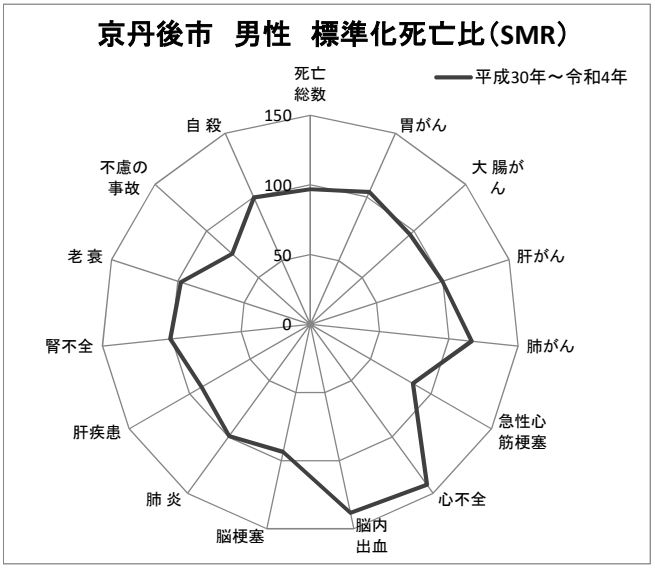


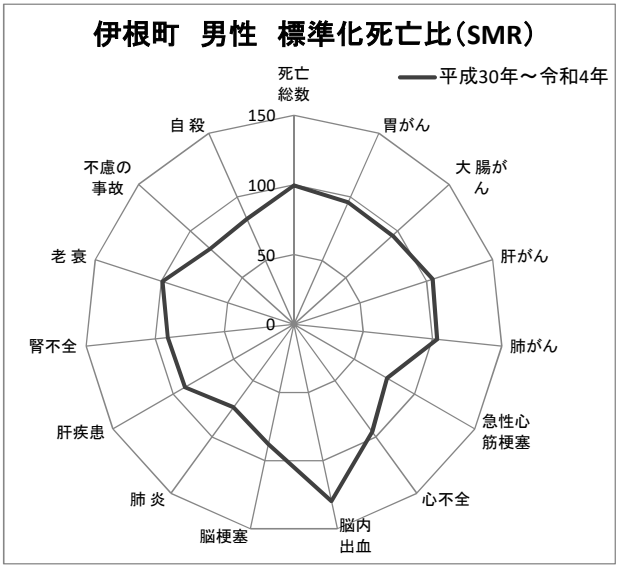


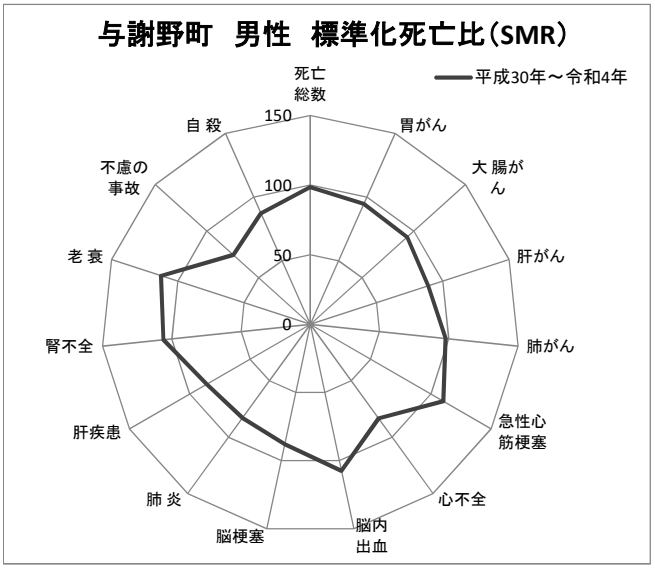




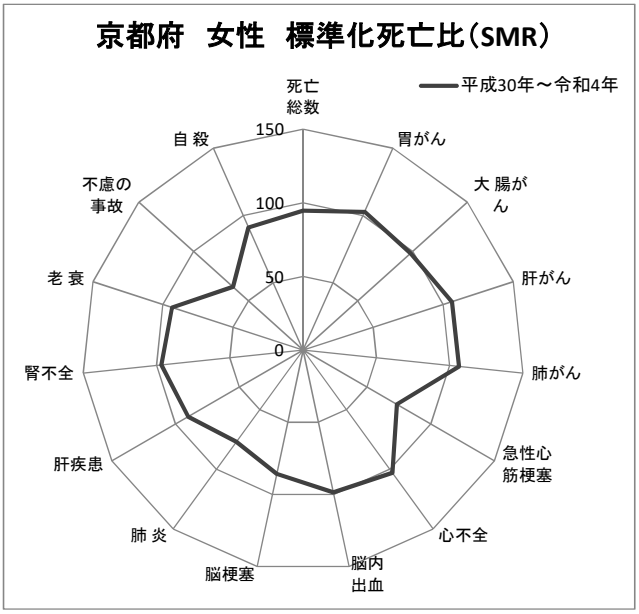
令和6年4月19日厚生労働省公表　標準化死亡比平成30～令和4年（ベイズ推定値）

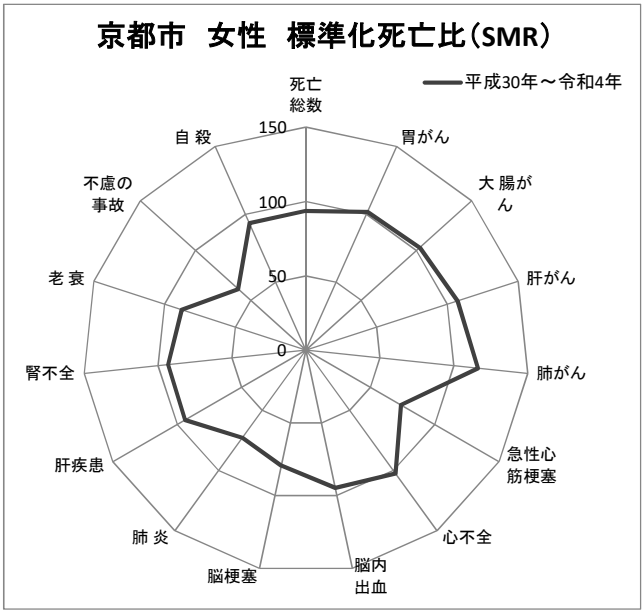


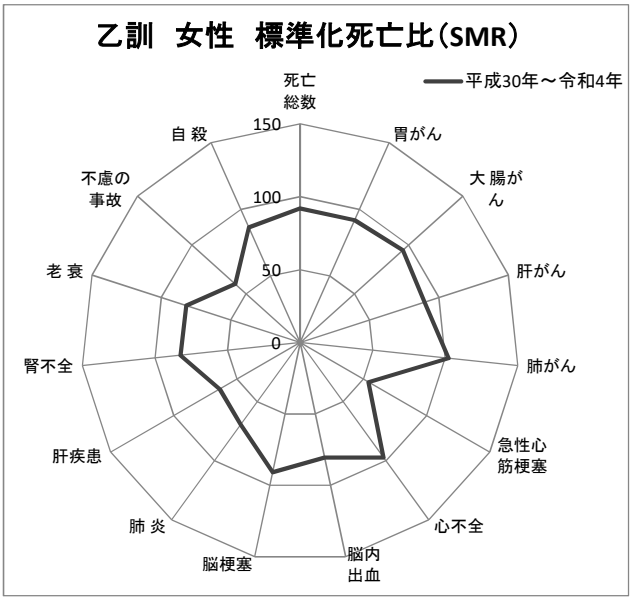


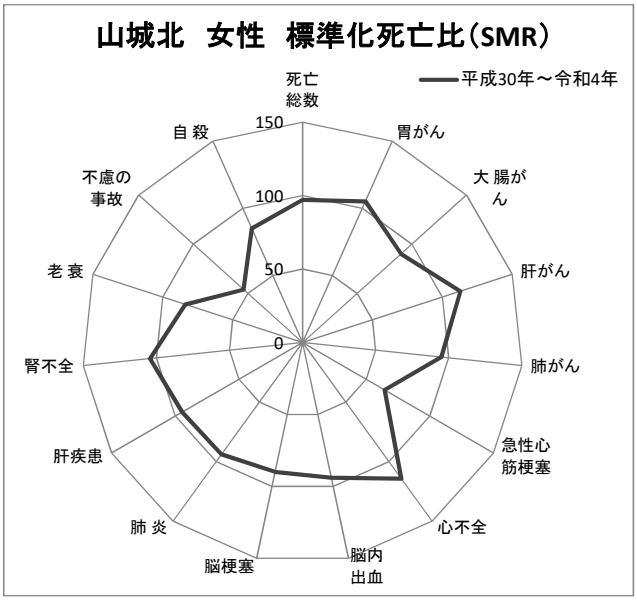


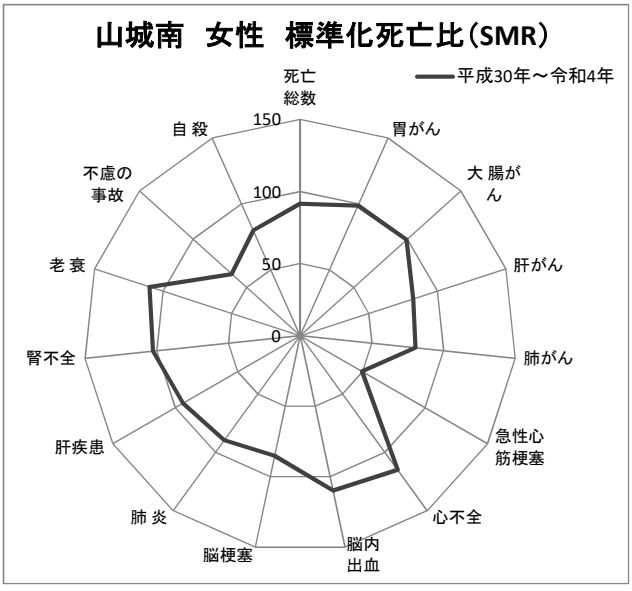
令和6年4月19日厚生労働省公表　標準化死亡比平成30～令和4年（ベイズ推定値）

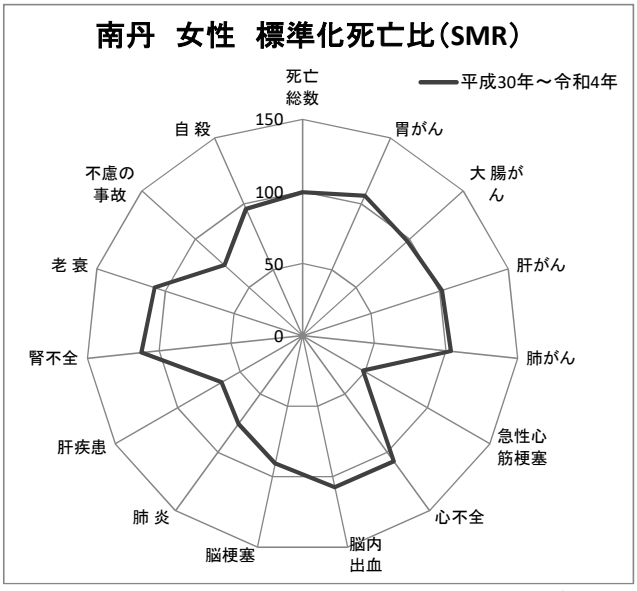




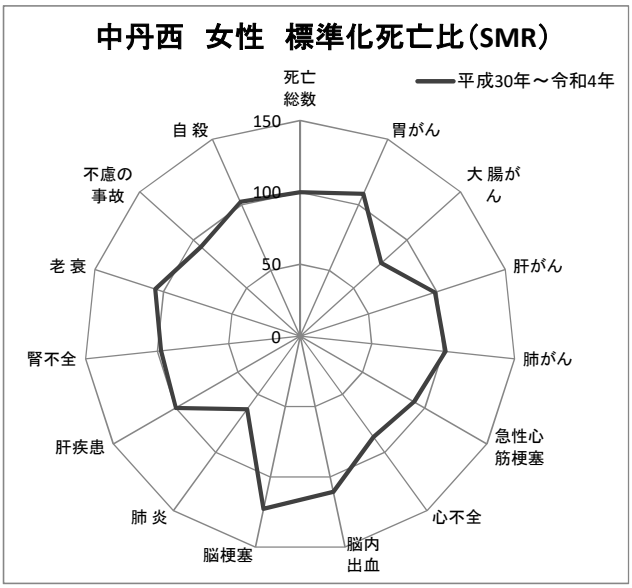


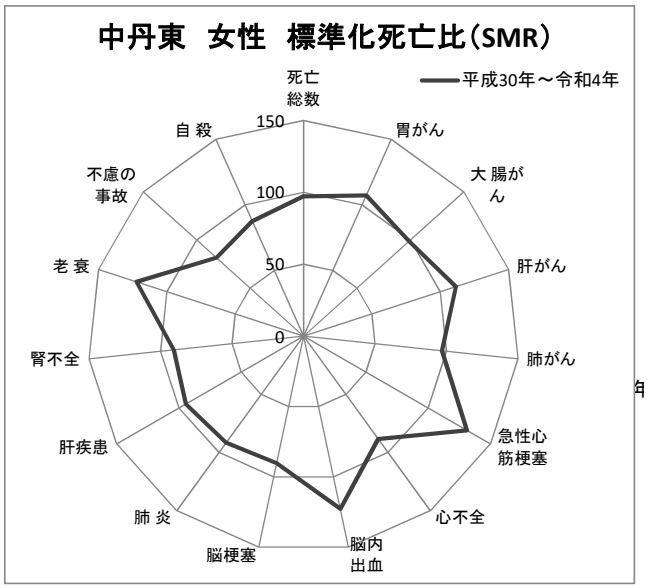


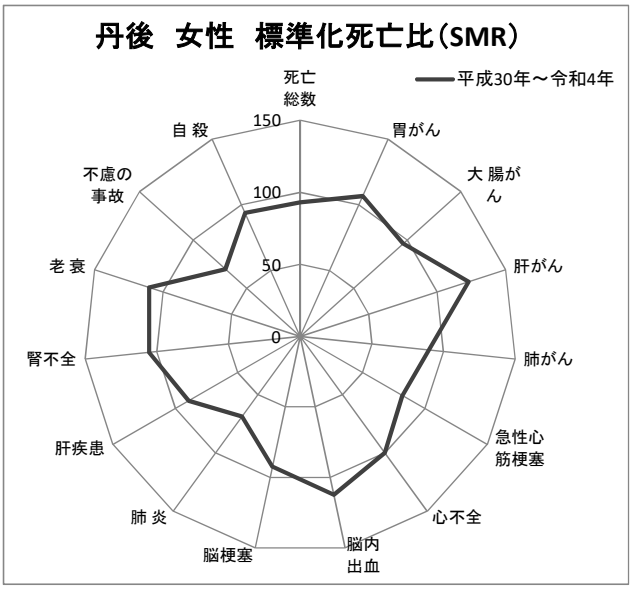




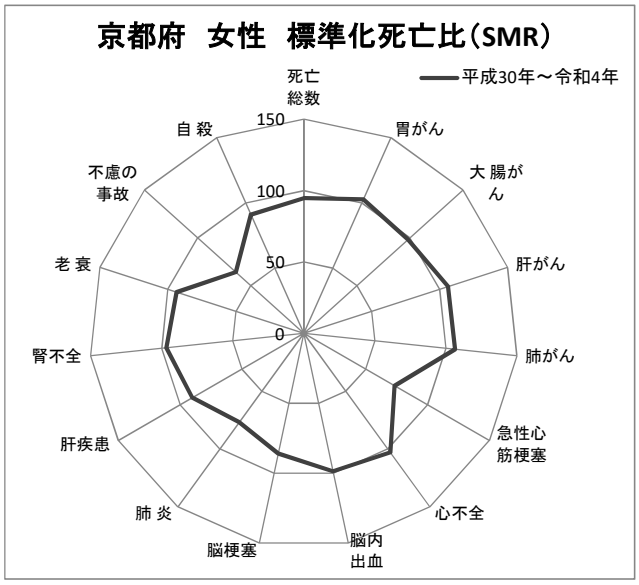
令和6年4月19日厚生労働省公表　標準化死亡比平成30～令和4年（ベイズ推定値）

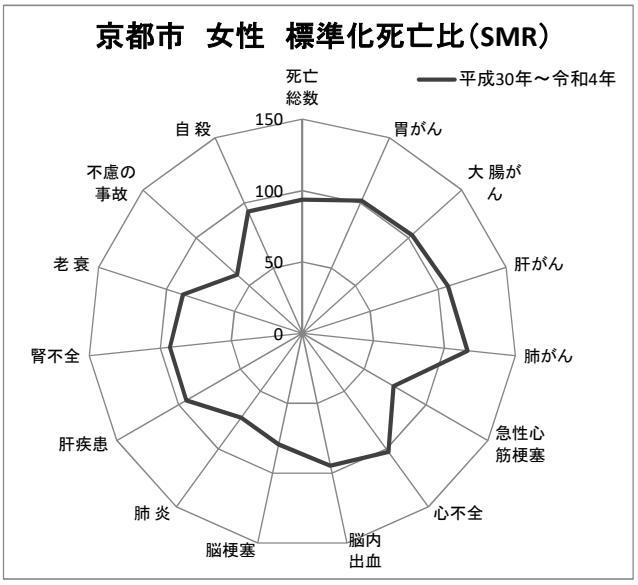


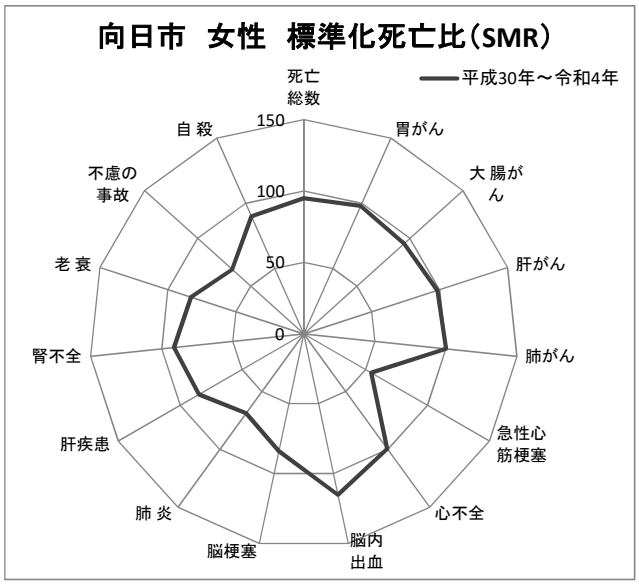


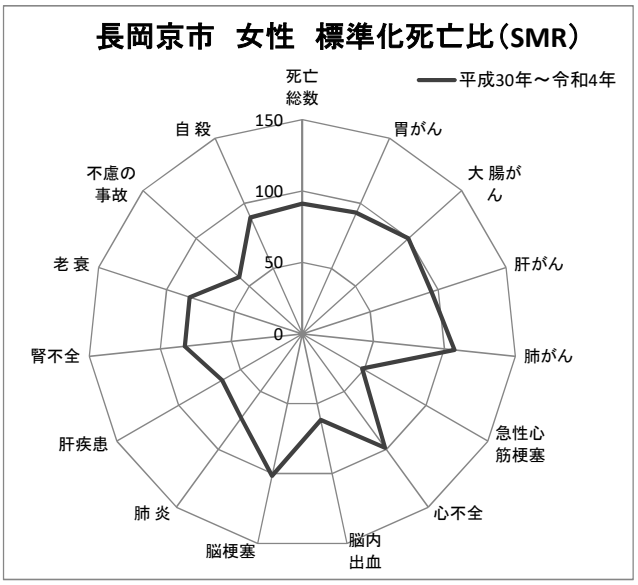


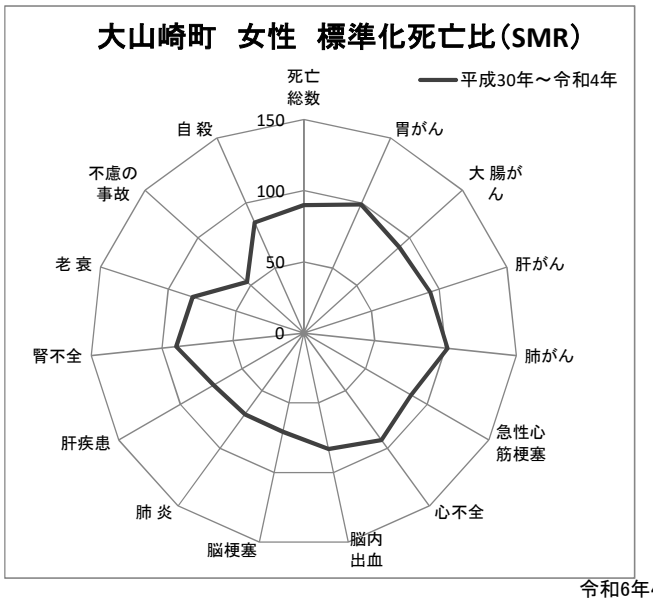
令和6年4月19日厚生労働省公表　標準化死亡比平成30～令和4年（ベイズ推定値）

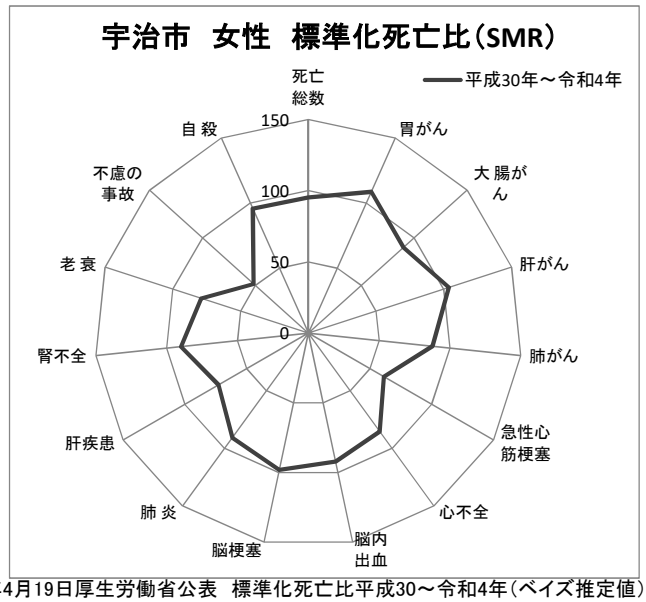




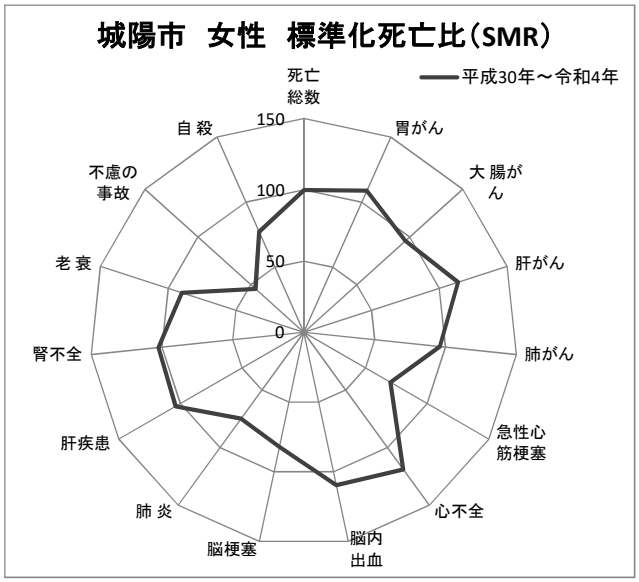


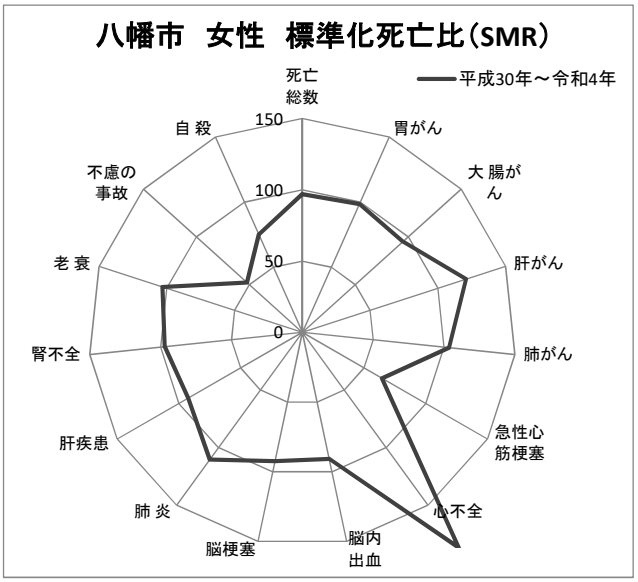


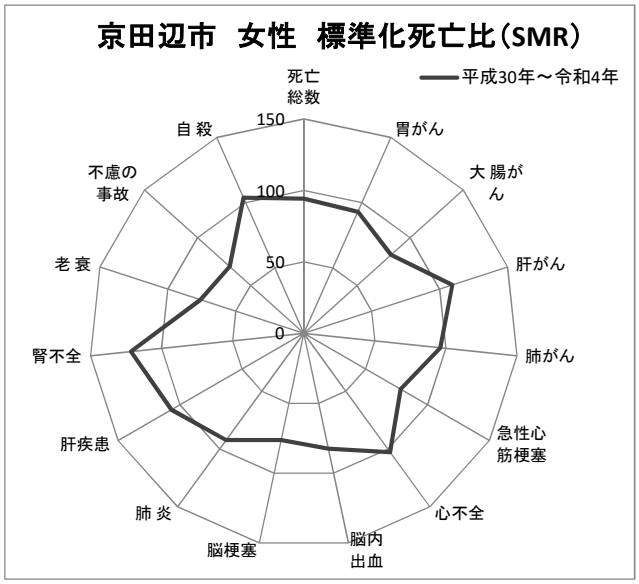


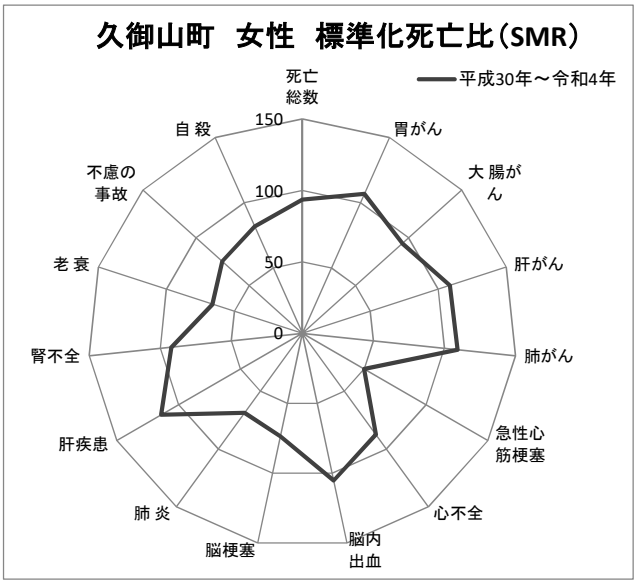


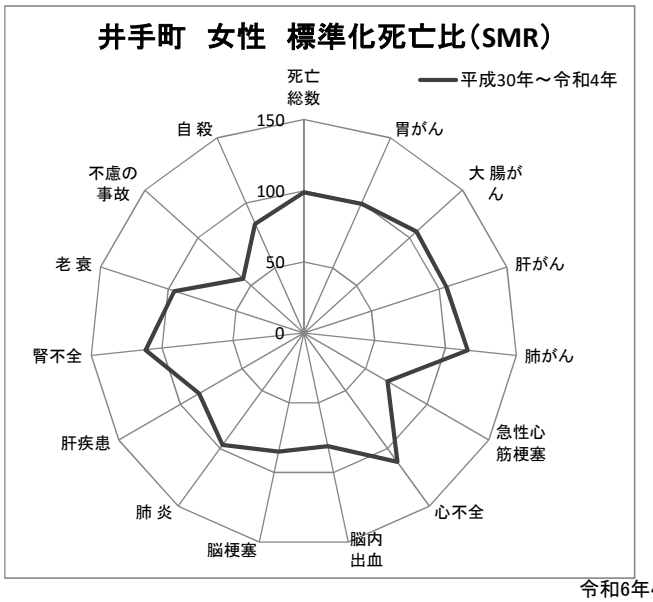
令和6年4月19日厚生労働省公表　標準化死亡比平成30～令和4年（ベイズ推定値）

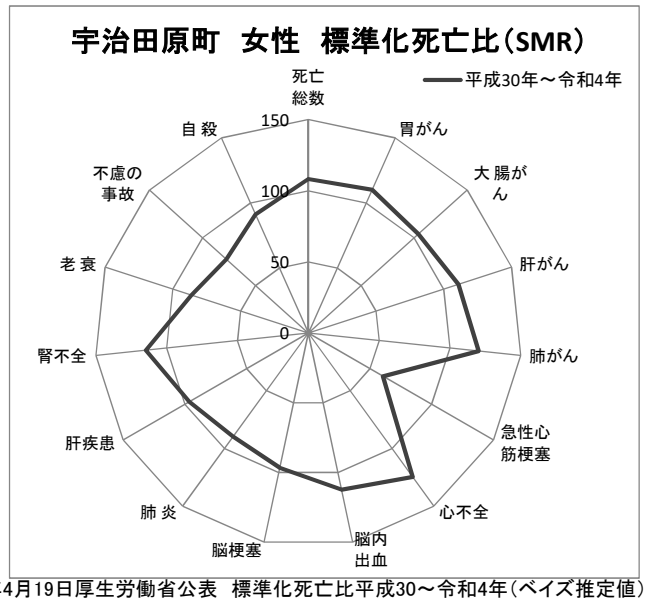




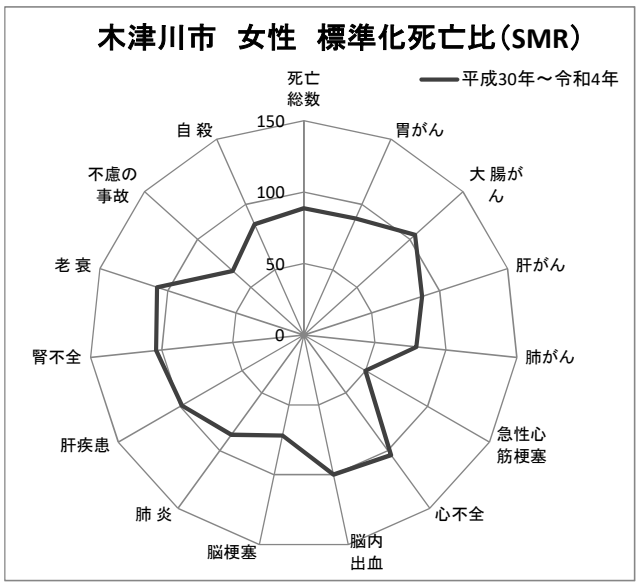


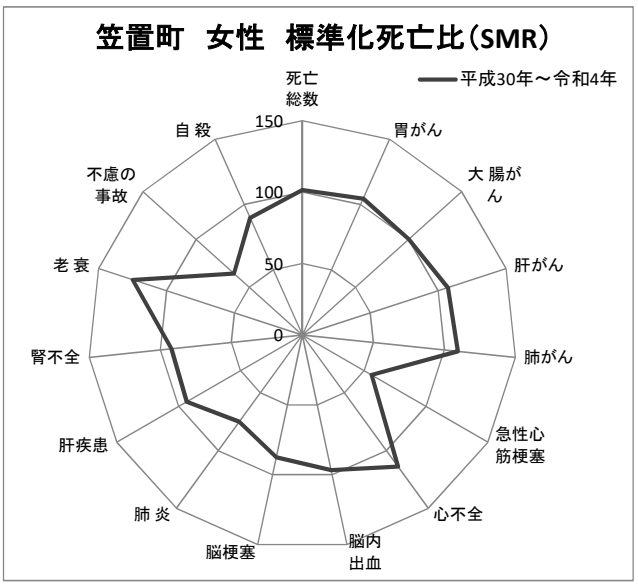


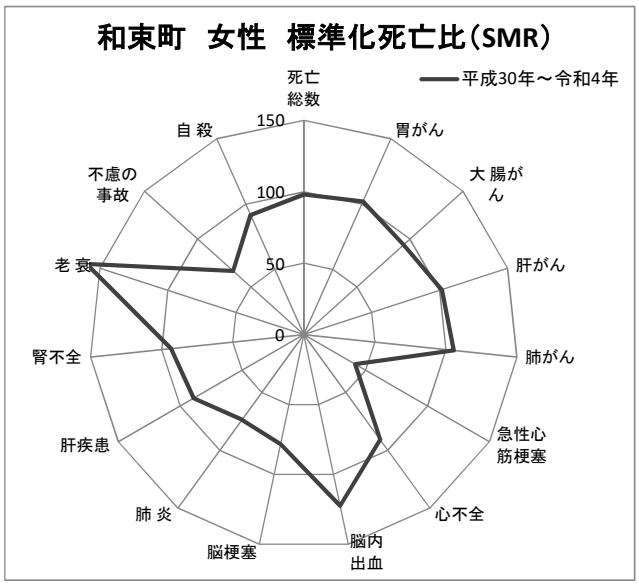


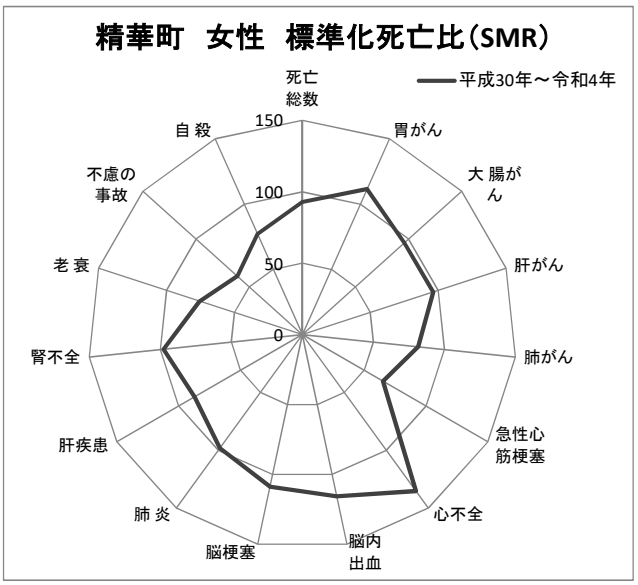


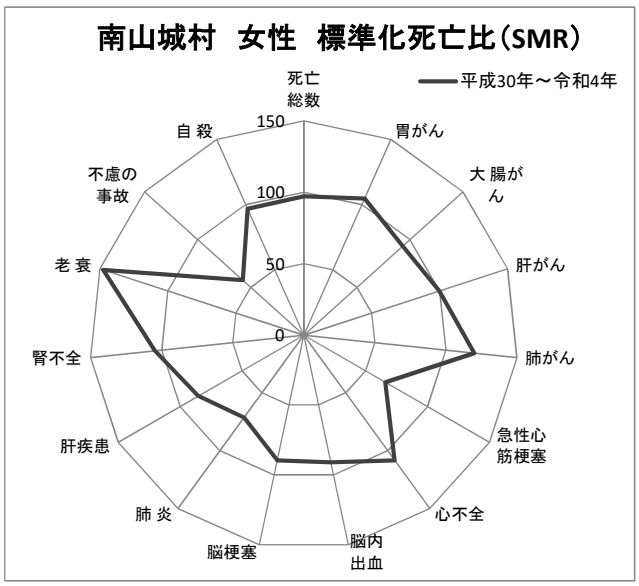
令和6年4月19日厚生労働省公表　標準化死亡比平成30～令和4年（ベイズ推定値）

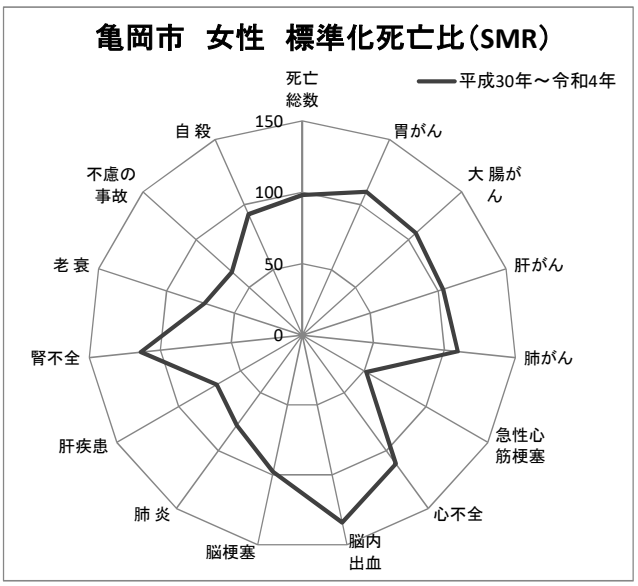




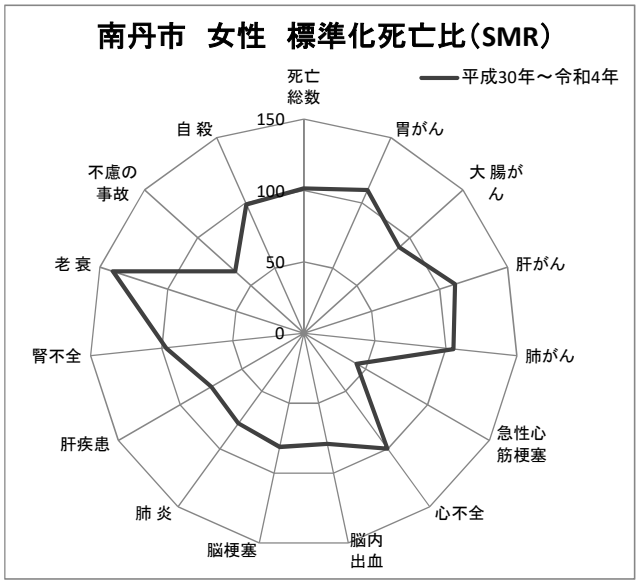


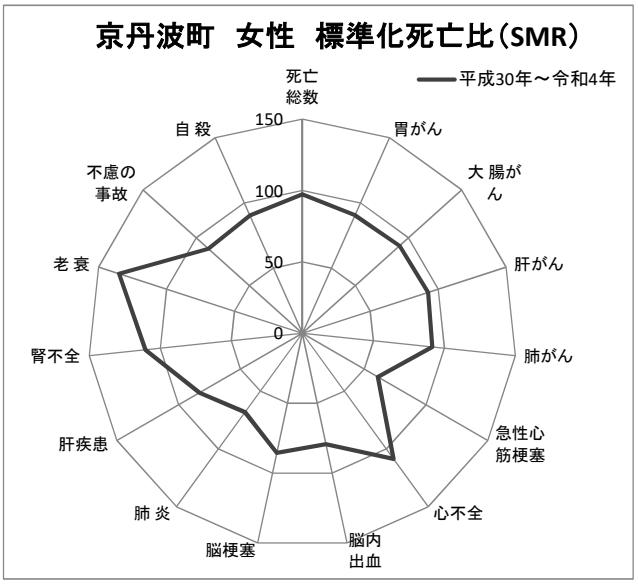


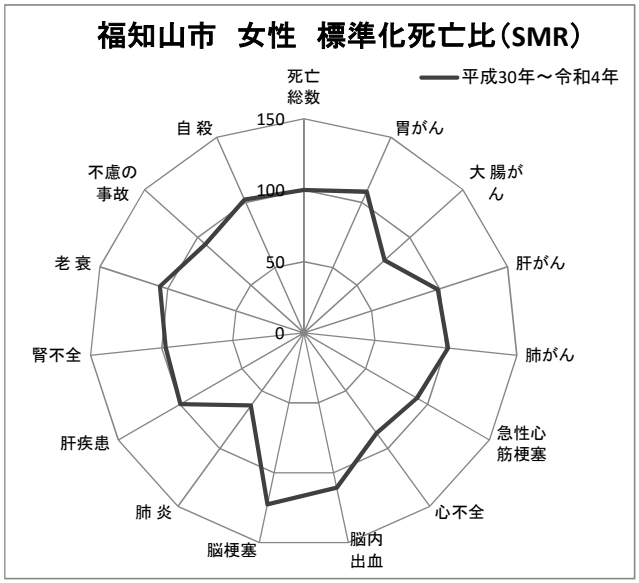


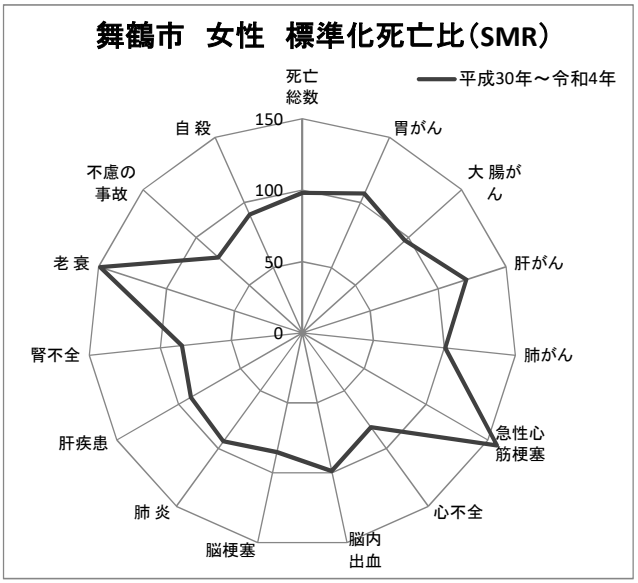


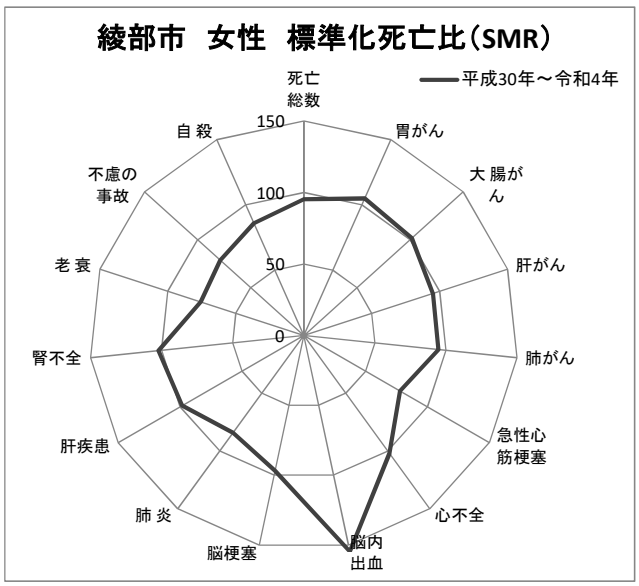
令和6年4月19日厚生労働省公表　標準化死亡比平成30～令和4年（ベイズ推定値）

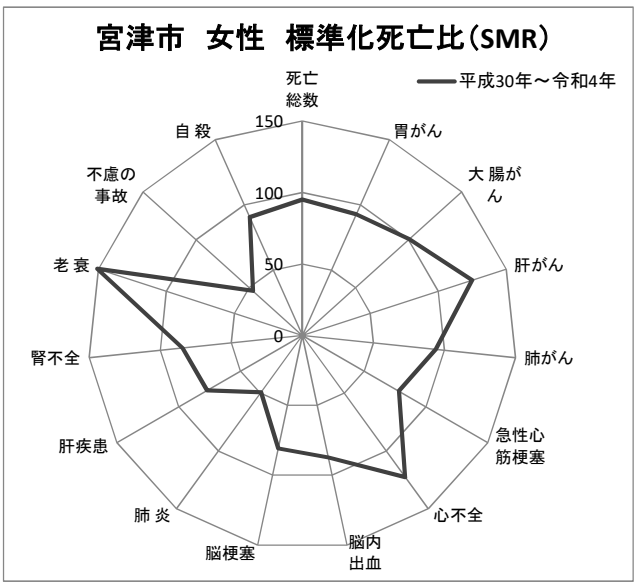




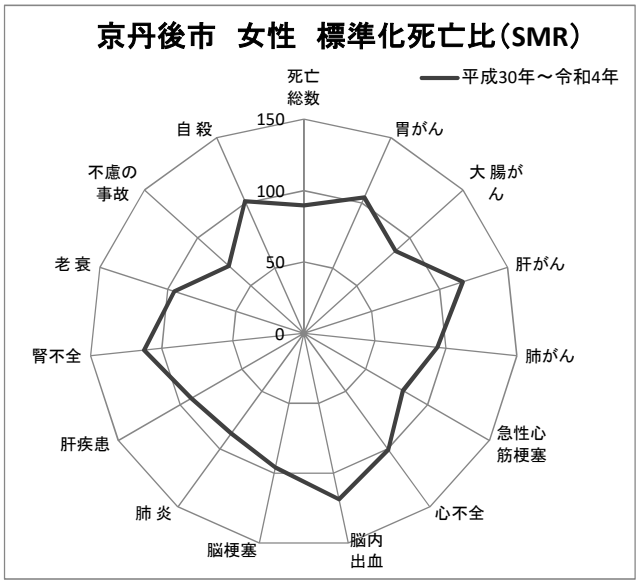


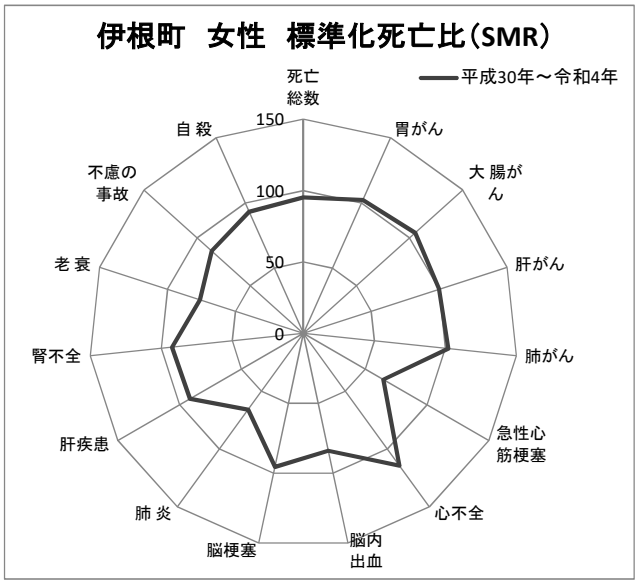


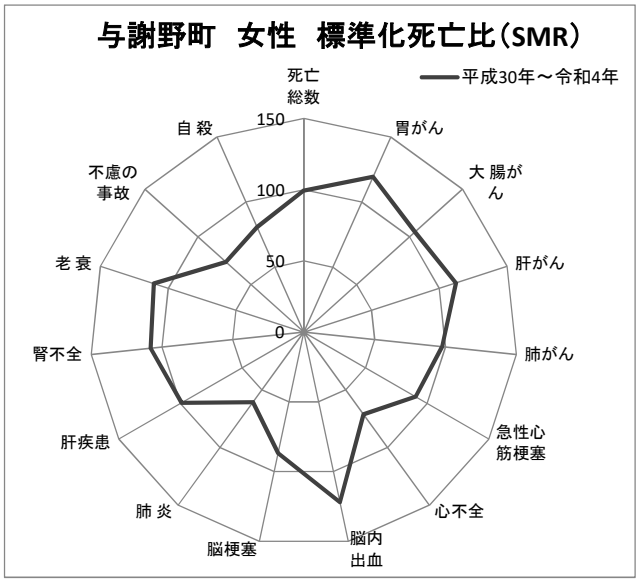




令和6年4月19日厚生労働省公表　標準化死亡比平成30～令和4年（ベイズ推定値）





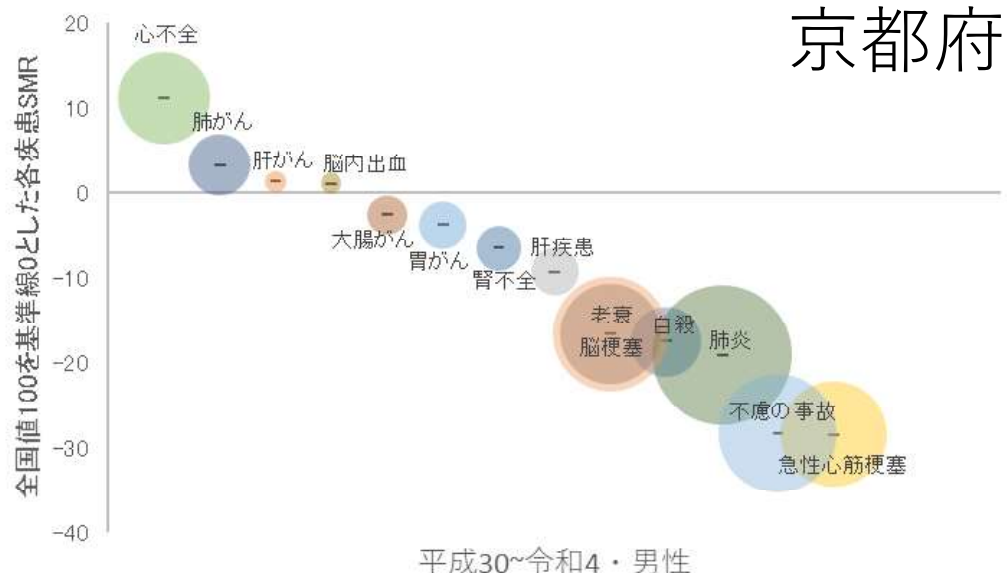


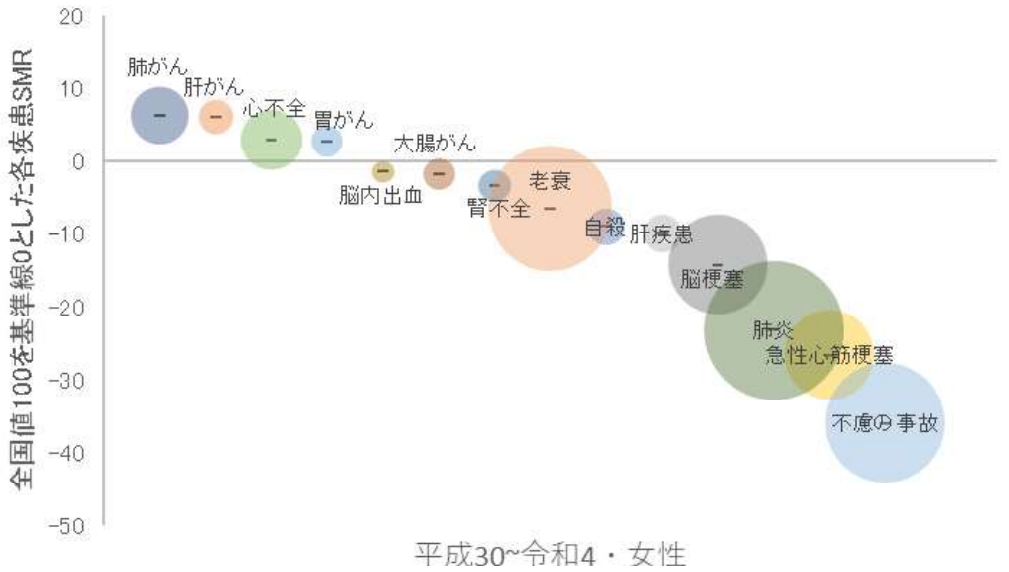
令和6年4月19日厚生労働省公表　標準化死亡比平成30～令和4年（ベイズ推定値）

SMRバブルチャート

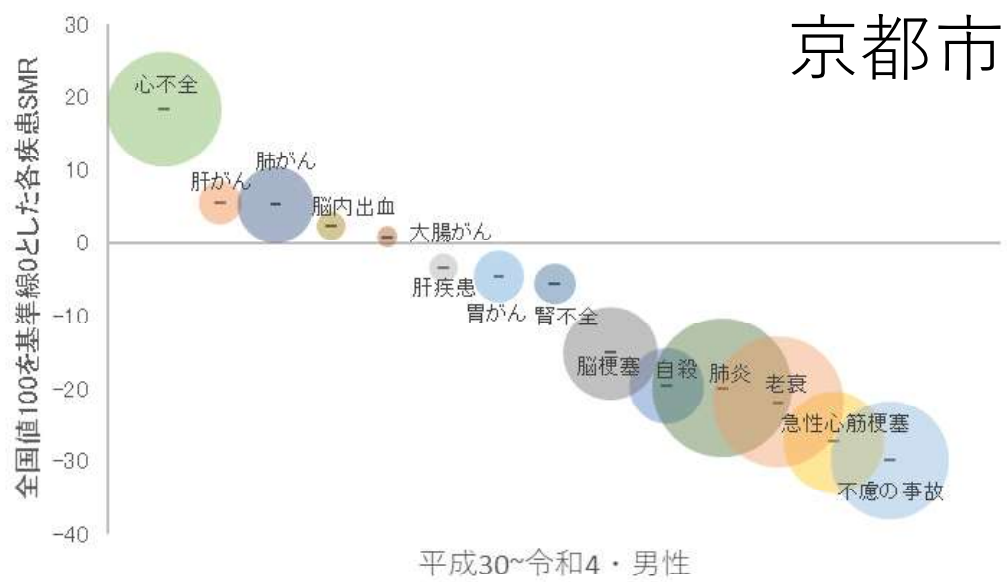
- 縦軸に各死因のSMR（H30~R4）から100を引いた値（0の水平基線がSMR全国値に相当）をとり、横軸には各死因名をSMR降順に配置した。また、円の面積は死亡者数の期待値（全国基準）と実死亡者数の差の絶対値（当該地域内の死因間における過剰・過少死亡の相対的な大きさ）を表す。
- 円の中心が基線の上に位置し、かつ円の大きな死因ほど、当該死因による過剰死亡の規模が大きいことを表す。一方、円の中心が基線の下かつ円の大きな死因は当該死因の過少死亡の規模が大きいことを表す。
- SMRの性質上、基線からの円の中心までの距離（SMR高低）や円の大きさ（過剰・過少死亡の規模）を年齢構成・人口規模の大きく異なる地域間で比較することはできない。

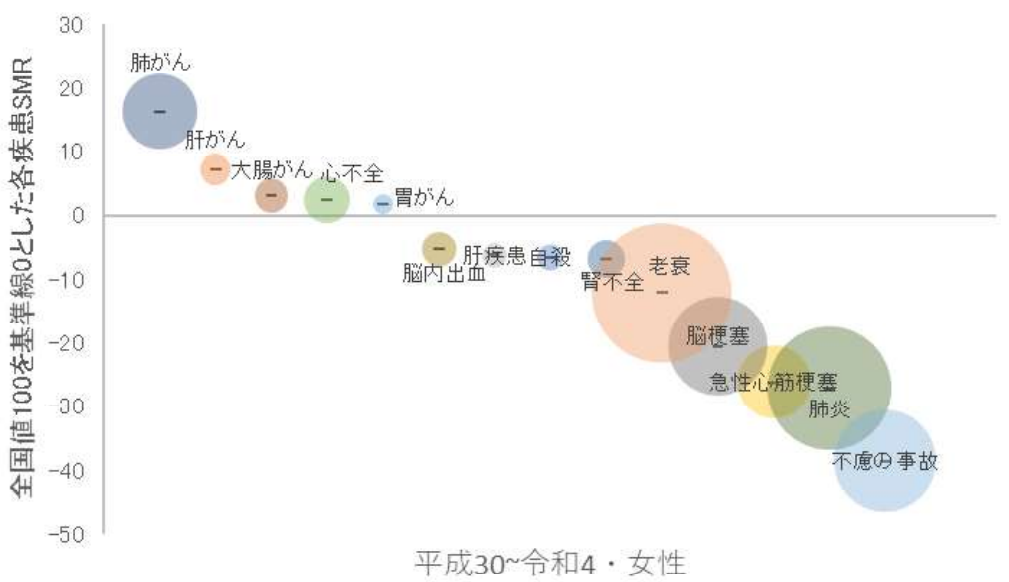
京都府



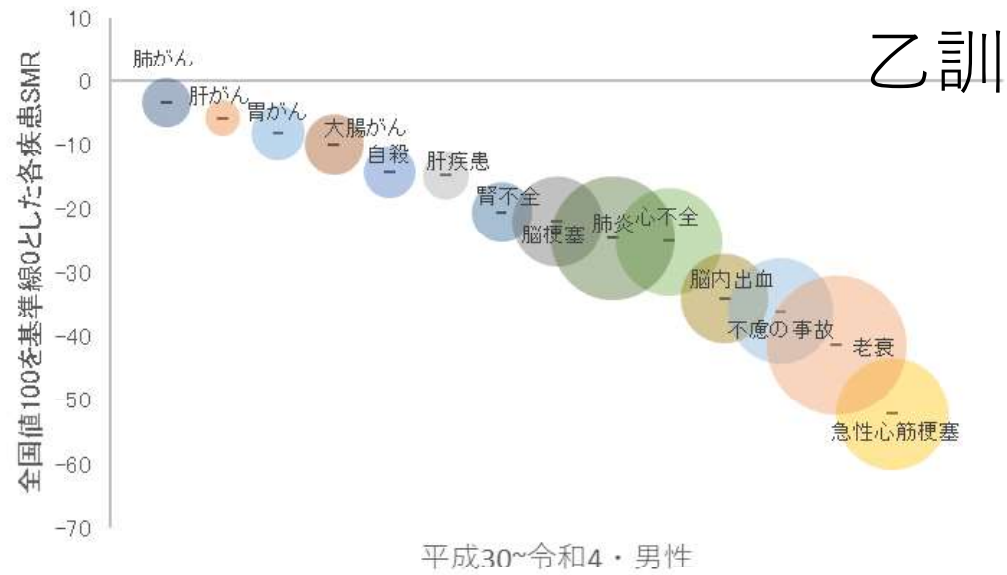


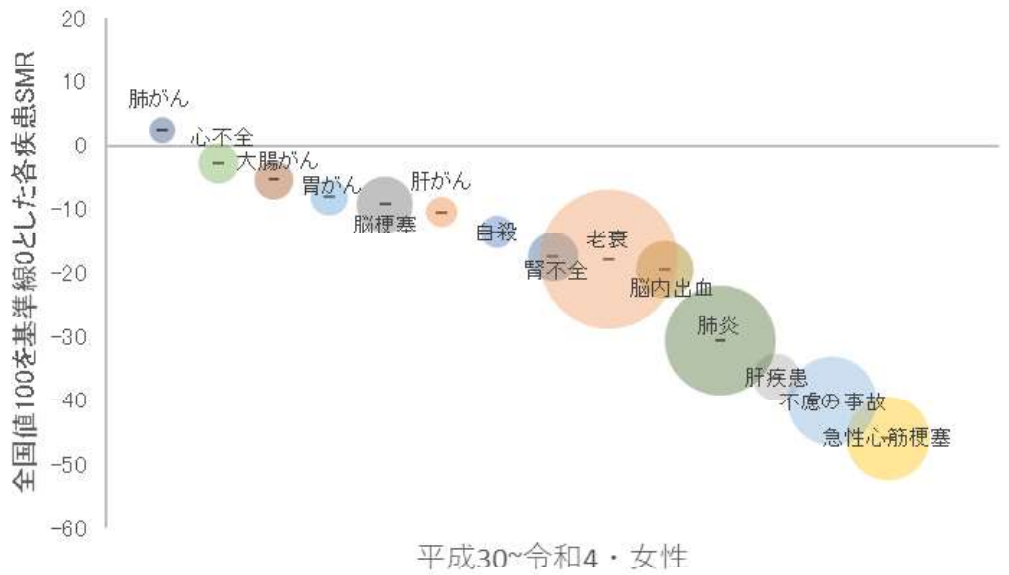
京都市



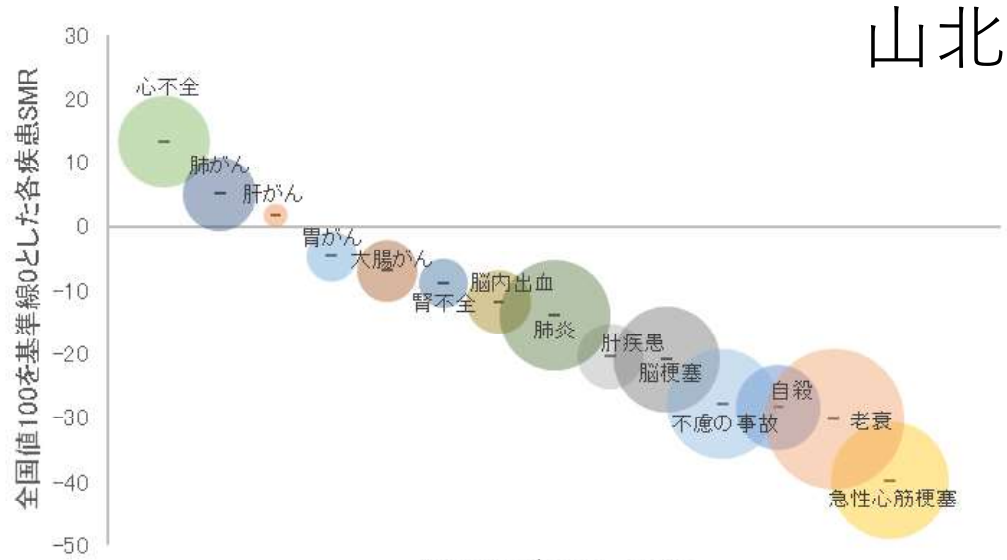


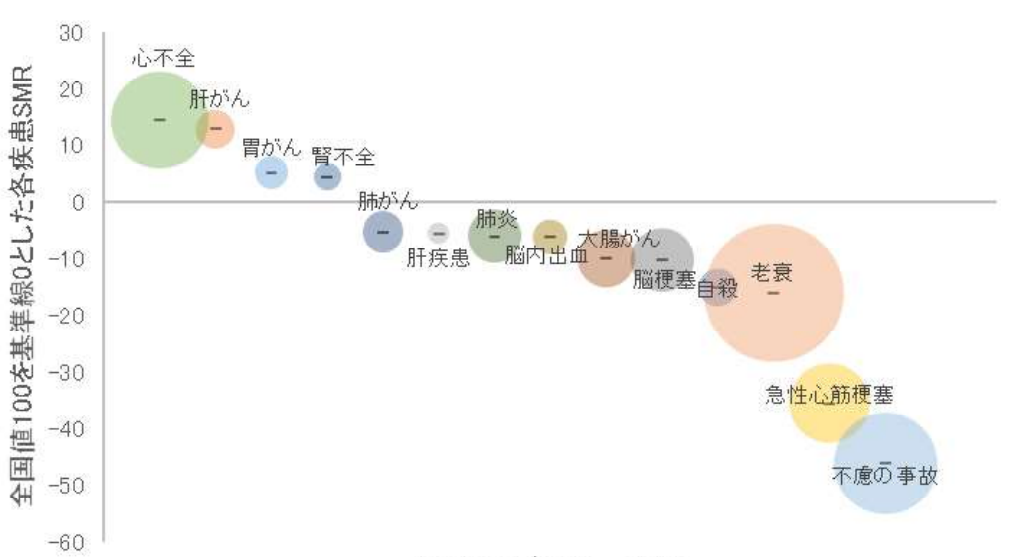
乙訓





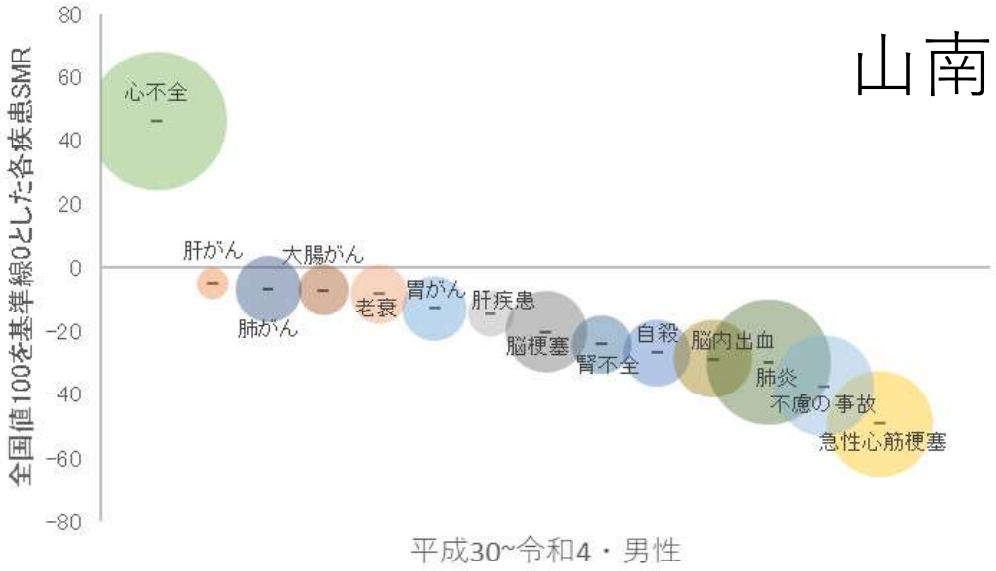
山北



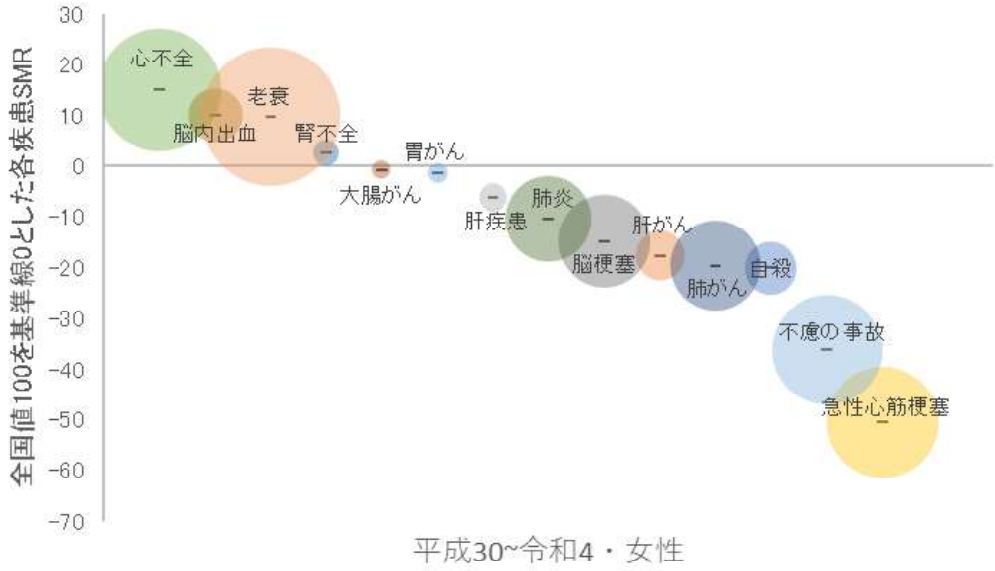


資料3 P16

山南

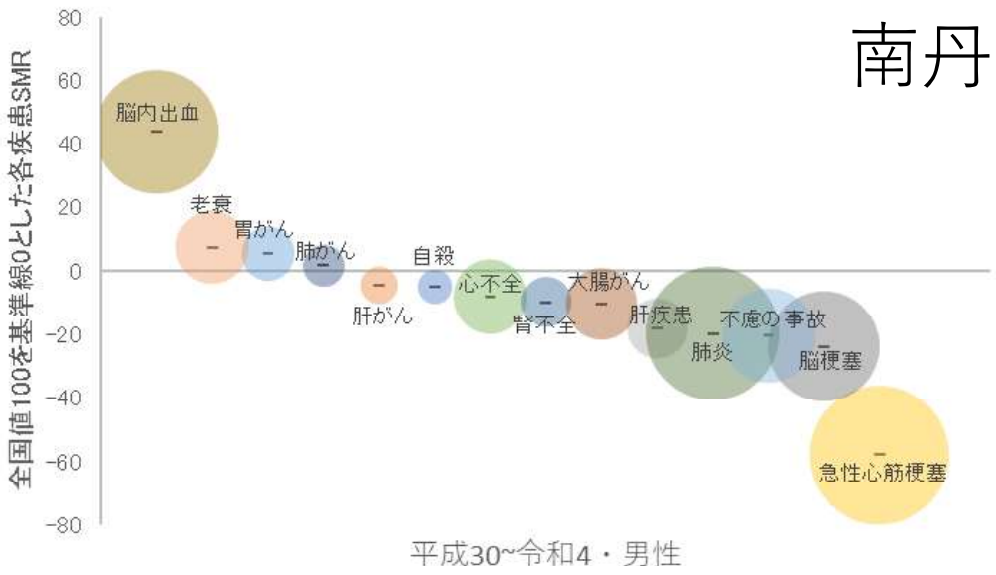


平成30~令和4・男性

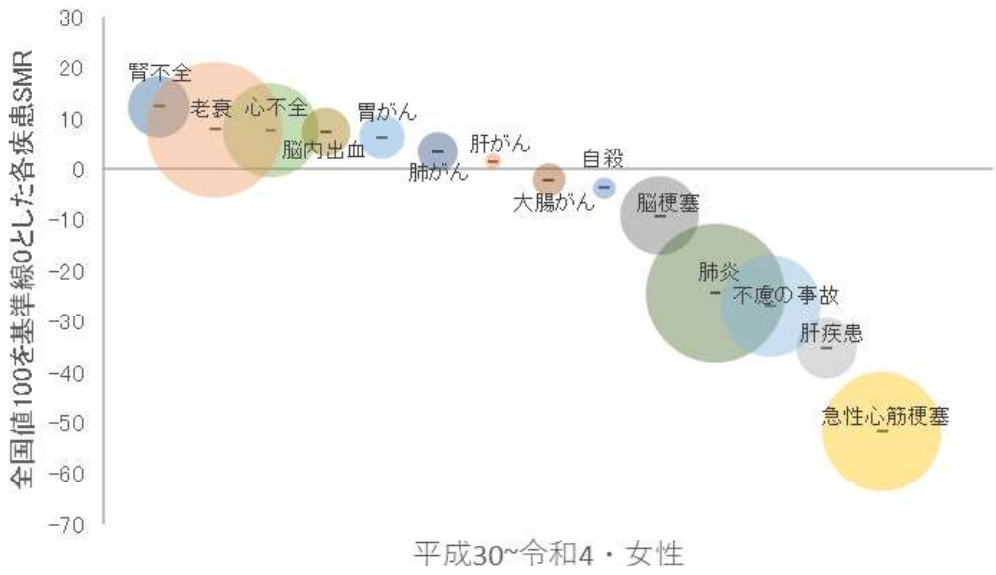


平成30~令和4・女性

南丹

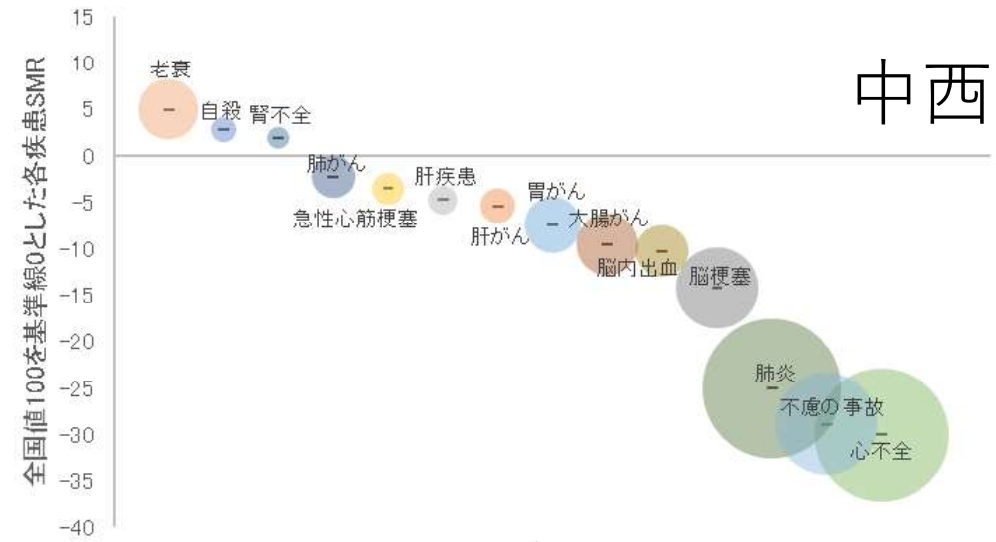


平成30~令和4・男性

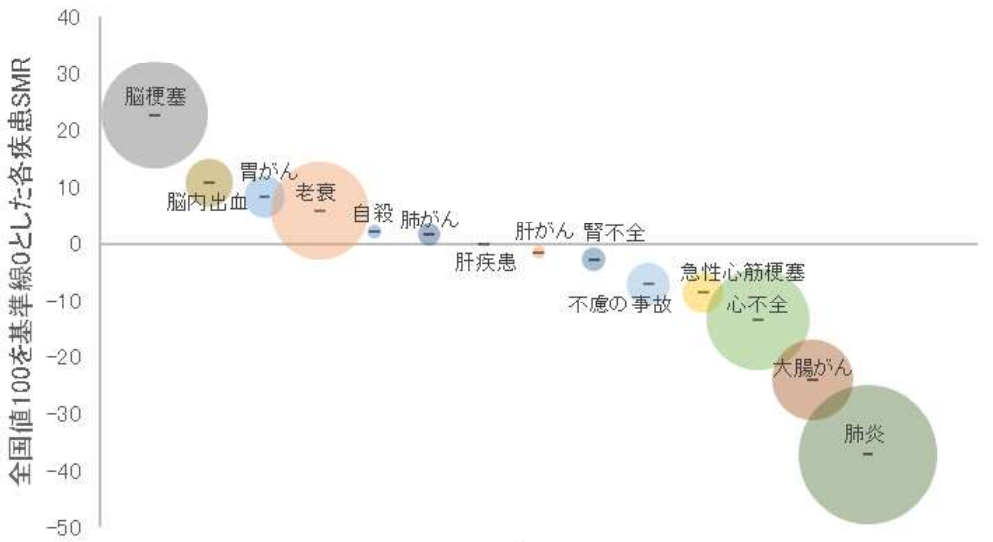


平成30~令和4・女性

中西

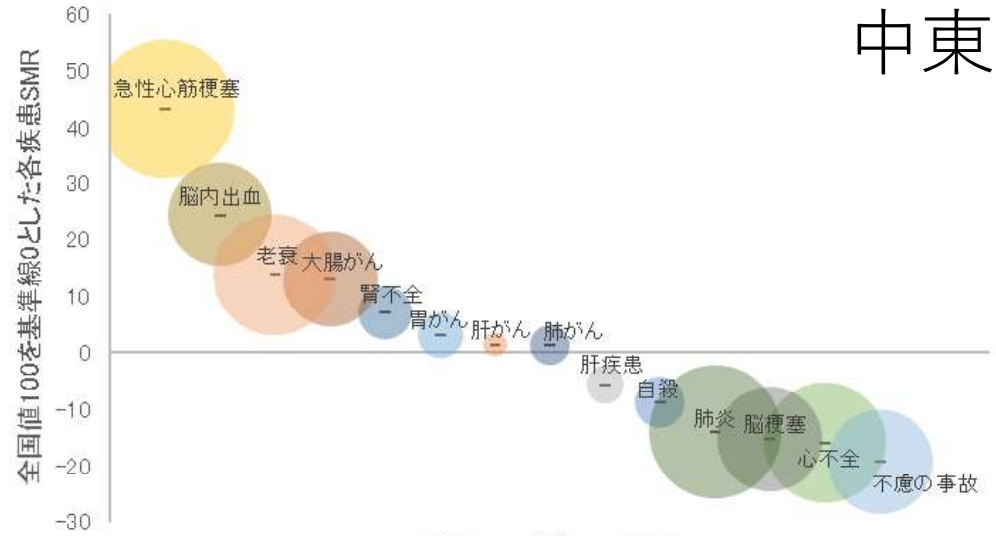


平成30~令和4・男性

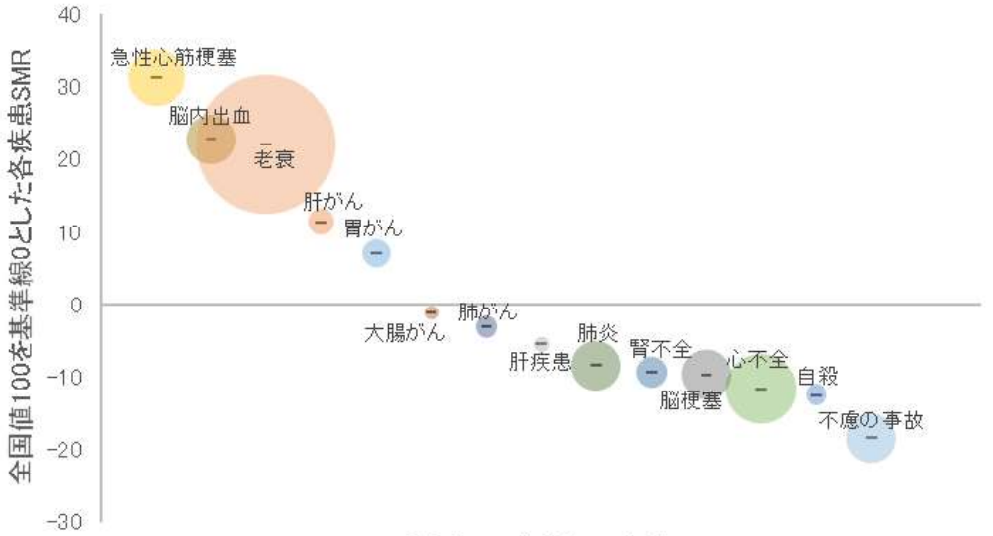


平成30~令和4・女性

中東

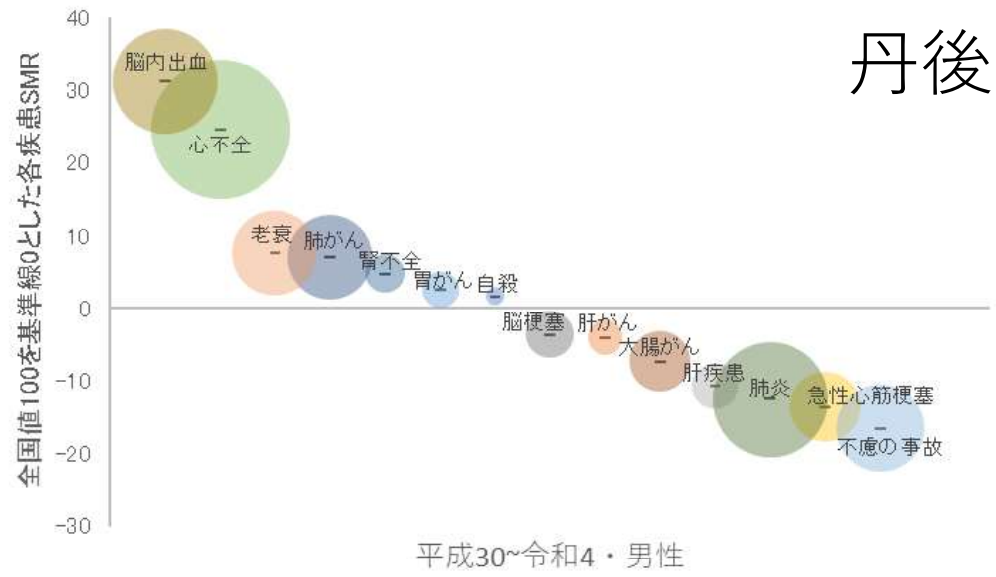


平成30~令和4・男性

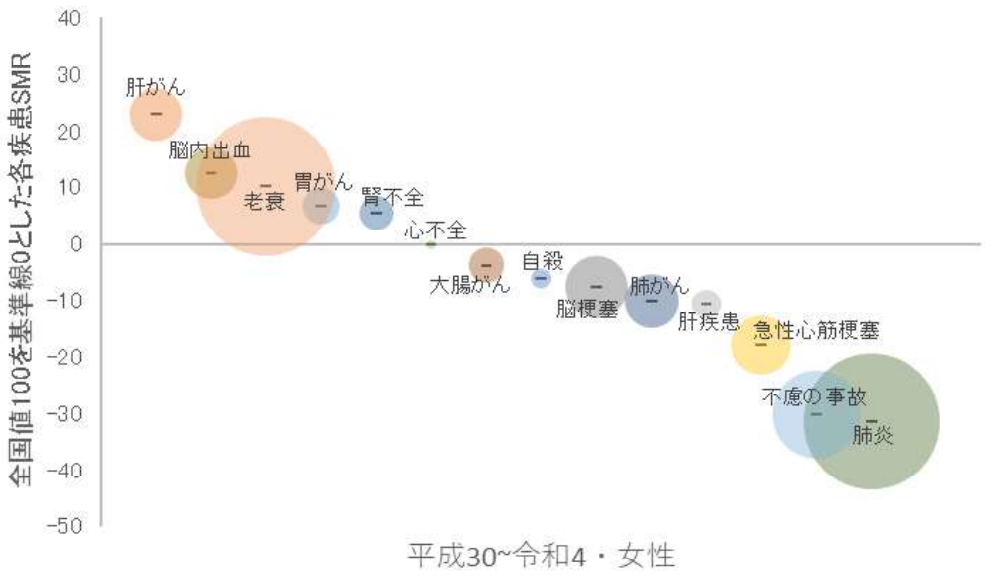


平成30~令和4・女性

丹後



平成30~令和4・男性



平成30~令和4・女性

資料3 P17

[出典]人口動態統計特殊報告（平成30～令和4年　人口動態保健所・市区町村別統計）